

# 複合機対応 顔認証機能

## 設置・運用マニュアル

### (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)

---

Version 1.0.0

# はじめに

---

本章では、NWカメラの出荷状態より、NWカメラのIPアドレスの変更がある場合、以下の手順を実施します。

このたびは、弊社、**SmartSESAME®** 複合機対応 顔認証機能(顔認証サーバー、ネットワークカメラ)をご購入いただきありがとうございます。

このマニュアルは、**SmartSESAME®**の複合機対応 顔認証機能(顔認証サーバー、ネットワークカメラ)の設置・運用方法について、説明します。

本ドキュメントを、よくお読みになった上でご使用いただくことを推奨します。

## ■ 商標

Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporationの米国、およびその他の国における商標および登録商標です。なお、本文中には®、™マークは明記しておりません。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。

## ■ 発行

2019年11月

## ■ 著作権

Copyright © 2009-2019 Computer Engineering & Consulting, LTD., All Rights Reserved.

**SmartSESAME®**は株式会社シーイーシーの登録商標です。

# 目次

はじめに .....	i
概要 .....	1
<b>1. 顔認証サーバーの設定 .....</b>	<b>7</b>
1.1. 顔認証サーバーの固定 IP の設定変更 .....	7
1.2. 顔認証サーバー上の複合機および NW カメラの設定変更 .....	9
1.3. ユーザと顔画像の登録方法 .....	11
1.4. 注意事項 .....	13
<b>2. NW カメラの設定 .....</b>	<b>14</b>
2.1. NW カメラの IP アドレスの変更 .....	14
2.2. 画像の転送先の設定変更 .....	16
2.3. その他任意設定項目 .....	19
<b>3. ユーザ管理およびプリンタ管理 .....</b>	<b>21</b>
3.1. ユーザの管理 .....	21
3.1.1. ユーザ管理画面 .....	21
3.1.2. ユーザグループの追加 .....	24
3.1.3. ユーザグループの更新 .....	25
3.1.4. ユーザグループの削除 .....	25
3.1.5. ユーザグループの一覧出力 .....	26
3.1.6. ユーザの追加 .....	27
3.1.7. ユーザの更新 .....	29
3.1.8. ユーザの削除 .....	30
3.1.9. ユーザのグループ移動 .....	31
3.1.10. ユーザの一覧出力 .....	32
3.1.11. ユーザの検索 .....	33
3.2. プリンタの管理 .....	34
3.2.1. プリンタ管理画面 .....	34
3.2.2. プリンタグループの追加 .....	36
3.2.3. プリンタグループの更新 .....	38
3.2.4. プリンタグループの削除 .....	39
3.2.5. プリンタグループの一覧出力 .....	40
3.2.6. プリンタの追加 .....	41
3.2.7. プリンタの更新 .....	44
3.2.8. プリンタの削除 .....	45
3.2.9. プリンタのグループ移動 .....	46
3.2.10. プリンタの一覧出力 .....	47
3.2.11. プリンタの検索 .....	48
3.3. 一括登録 .....	49
3.3.1. 一括登録画面 .....	49
3.3.2. 事前チェック .....	51
3.3.3. 一括登録の操作手順 .....	54
<b>4. バックアップとリカバリー .....</b>	<b>58</b>
4.1. 顔認証サーバーのバックアップ .....	58
4.1.1. OS のバックアップ .....	58
4.1.2. データベースのバックアップ .....	58
4.2. 顔認証サーバーのリカバリーの実施方法 .....	60
4.2.1. OS のリストア .....	60
4.2.2. 管理サーバサービスの停止 .....	63
4.2.3. アプリケーションサーバサービスの停止 .....	64

4.2.4.	データベースのリストア.....	65
4.2.5.	ユーザ情報の再マッピング.....	66
4.2.6.	管理サーバサービスの開始.....	66
4.2.7.	アプリケーションサーバサービスの開始.....	67
4.3	NW カメラの出荷状態へ復元方法.....	68
<b>5.</b>	<b>注意制限事項.....</b>	<b>69</b>
5.1.	NW カメラの設置場所と設置位置の注意事項・留意事項.....	69
5.2.	顔認証時の注意事項・留意事項.....	69
5.3.	顔認証の認証精度に関する留意事項.....	70
5.4.	顔認証システムに関する注意事項.....	70
5.5.	システムの再起動.....	70
5.6.	制限事項.....	70
<b>付録 1.</b>	<b>NW カメラの初期状態からの設定方法.....</b>	<b>71</b>
付録 1.1	AXIS M1065-L の初期起動.....	71
付録 1.2	AXIS M1065-L の詳細設定.....	73
<b>付録 2.</b>	<b>ログイン認証と管理メニュー.....</b>	<b>80</b>
付録 2.1	通常の起動方法.....	80
付録 2.2	ログイン認証.....	81
付録 2.3	サーバ管理ツールのメニュー.....	82
付録 2.4	ログインユーザの権限区分.....	83
<b>付録 3.</b>	<b>ウイルス対策ソフトでのリアルタイムスキャン除外.....</b>	<b>84</b>
<b>付録 4.</b>	<b>顔認証モニターツール.....</b>	<b>85</b>
付録 4.1	アクション状況の表示.....	86
付録 4.2	フェイスマスター登録準備フォルダへの移動.....	88
<b>付録 5.</b>	<b>ログインアカウントのパスワード変更.....</b>	<b>90</b>
<b>付録 6.</b>	<b>トラブルシューティング.....</b>	<b>91</b>

## 概要

複合機対応顔認証機能とは、複合機に紐づけられたネットワークカメラ(以降、NWカメラという)デバイスで撮影した顔画像を使って認証し、富士ゼロックス社製複合機にログインする機能です。

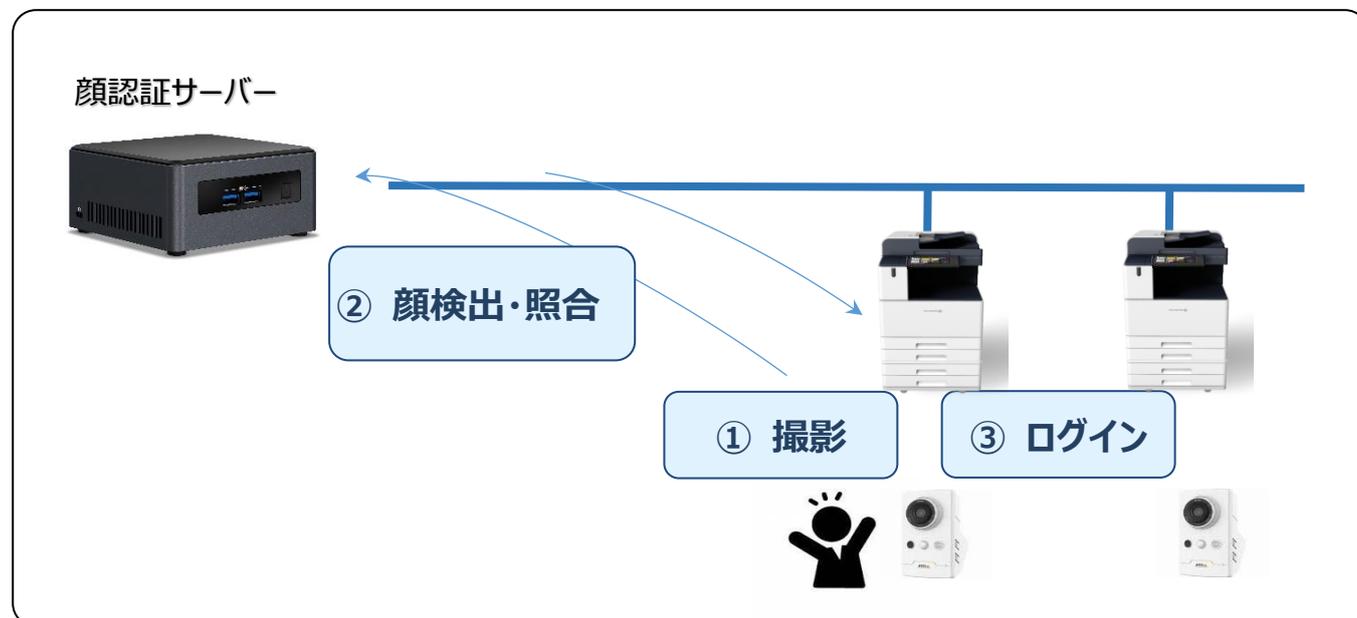
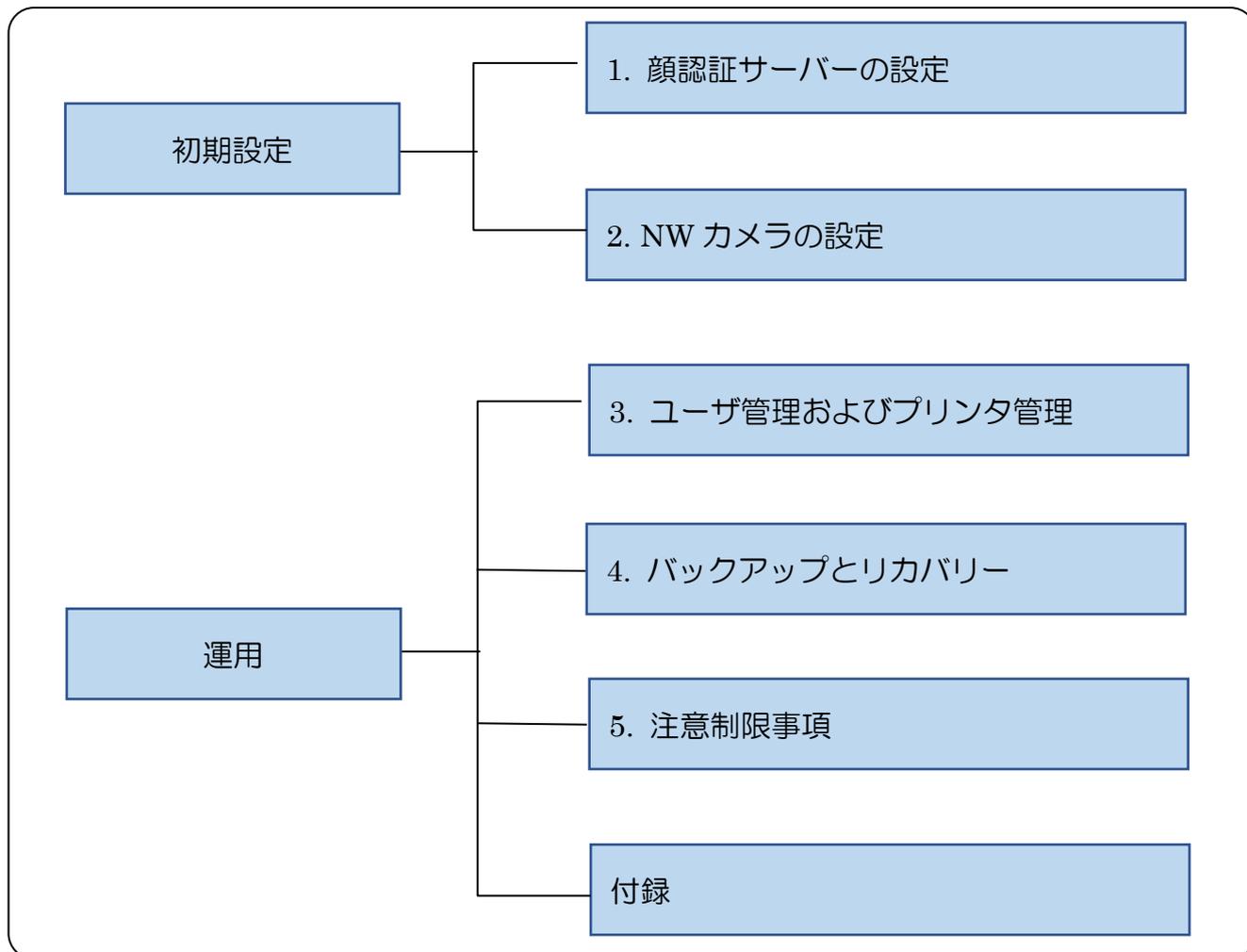


図 概要 SmartSESAME® 複合機対応 顔認証機能

### 注意

- 複合機のファームウェアの更新が必要になる場合があります。
- 利用する複合機にICカードリーダーを搭載することができません。
- 顔認証印刷の利用開始にあたっては、利用者の顔画像を準備し、顔認証サーバーに登録する必要があります。
- 顔認証サーバーは、顔検出・照合以外の用途には利用できません。
- 本マニュアルの各手順や説明で利用するキャプチャは、画面の一部分だけを切り取って、利用することがあります。

本マニュアルの章は以下のような構成になります。利用されるシーンに応じて、活用してください。



顔認証で利用する各種情報と配置位置、ならびに、その定義フェーズについて、以下に説明します。

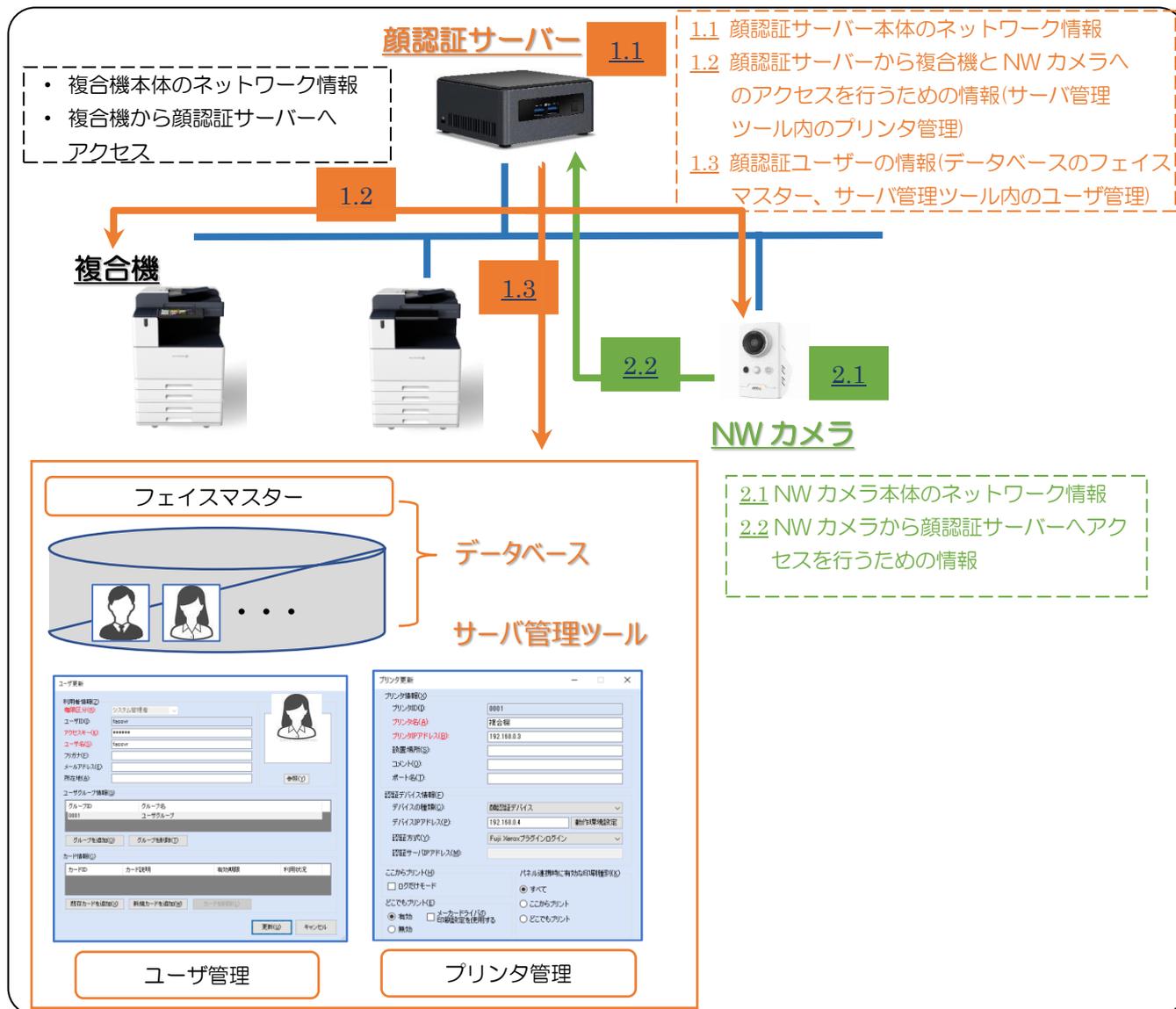


図 概要 複合機対応 顔認証機能の利用情報配置イメージ

表 概要 複合機対応 顔認証機能で利用する情報と定義フェーズ

情報	配置サーバ	概要
フェイスマスター	顔認証サーバー	利用者の顔画像ファイルと特徴量ファイルを顔認証サーバーのデータベースに格納します。利用者の顔画像ファイル名と特徴量ファイル名は、ユーザ情報と紐づけされます。
ユーザ情報	顔認証サーバー	事前に用意した利用者の顔画像ファイルをサーバ管理ツールのユーザ管理機能で登録します。登録した顔画像ファイルは、顔特徴量に変換され、フェイスマスターに格納します。
プリンタ情報	顔認証サーバー	複合機情報、およびNWカメラの情報をサーバ管理ツールのプリンタ管理で登録します。

ユーザー情報として登録する顔画像について、以下のことをご注意ください。

**注意**

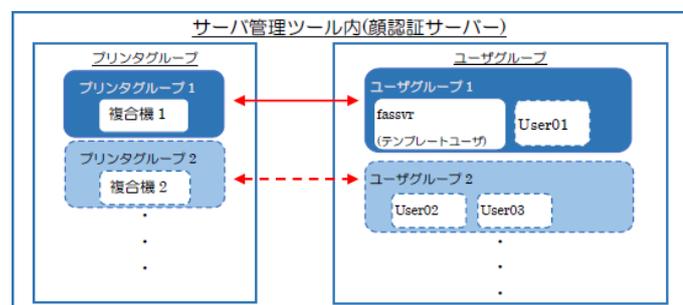
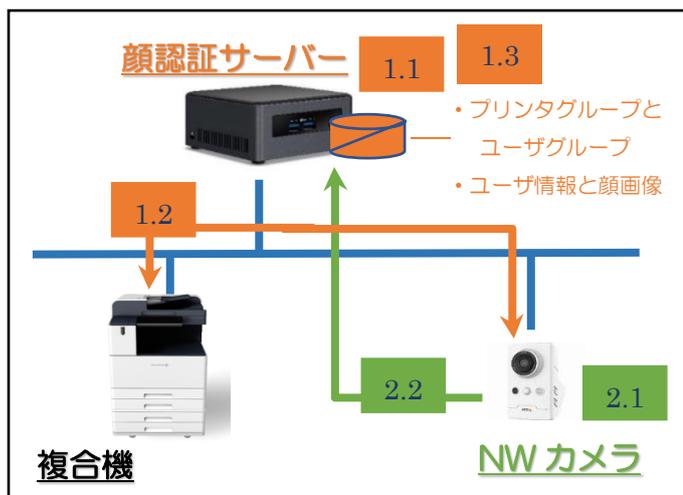
## 撮影者へのお願い

- 顔撮影する際に、安定した照度の光を顔正面からあてる必要があります。日光の変化は非常に影響が強いため、日光の入らない、明るい室内で撮影することを推奨します。(カーテン設置・閉めるなどの措置を推奨します。)
- 前面からの適度な照明をご用意ください。後ろからの光、横からの光、強すぎる光を避けて撮影してください。
- 被写体の背景が均一になるように壁などを背にして撮影した画像を選択してください。また、影や他人が映りこまないように撮影してください。
- 被写体が離れすぎず、顔の輪郭がはっきりわかるような距離で撮影してください。
- 顔の一部が隠れないように、胸元から上をアップで撮影してください。
- ピンボケ、手ブレに注意してください。三脚などで固定して撮影が望ましいです。
- 過度な化粧、アプリなどによる加工は行わないでください。
- 精度向上のためには、定期的に再撮影を行ってください。
- 解像度が100万画素(HD:1280 × 720相当)~200万画素(FHD:1920 × 1080相当)のカメラを利用してください。

## 被写体の方へのお願い

- 横/上下を向いたり、目を閉じたりしないでください。
- 笑う、にらむ等、普段と違う表情にならないようにしてください。
- 前髪で眉、目を隠さないでください。
- マスク、サングラス、帽子、黒縁眼鏡などは外してください。
- 眼鏡をかけて撮影する場合は、正しい位置にかけてください。(フレームが目にかかる場合、光で反射して目が写らない場合は外してください。)

# 初期設定



初期設定を行う前に以下の準備を行ってください。

- 顔認証サーバーを操作できるように、ディスプレイ、キーボード、マウスを用意し、顔認証サーバーと接続している状態にしてください。
- 顔認証サーバーに同梱されている「初期設定用紙」を準備してください。
- 「初期設定用紙」に、顔認証サーバー本体の管理者アカウント/パスワード、顔認証サーバー管理ツールのユーザID/アクセスキー、ネットワークカメラのユーザ名/パスワードが記載されていることを確認してください。
- 設定をスムーズに行えるように、運用で使用される顔認証サーバーの設定情報、ネットワークカメラの設定、複合機およびプラグインの設定を初期設定用紙に事前に記入してください。
- 顔認証サーバー、NWカメラを運用されるネットワークに接続してください。
- 顔認証サーバー、NWカメラの電源を入れてください。
- 「初期設定用紙」に記載された管理者アカウントとパスワードで顔認証サーバーにログインしてください。
- 顔認証動作確認用ユーザーの顔画像を、メディア(USB/DVDなど)を経由し、顔認証サーバー上へ用意してください。利用可能な顔画像ファイルの形式は、「.jpg」、「.bmp」、「.png」のみとなります。

## 初期設定内容

### 1.1. 顔認証サーバーの固定 IP の設定変更

顔認証サーバー本体に固定 IP アドレスを設定します。

### 1.2. 顔認証サーバー上の複合機および NW カメラの設定変更

顔認証サーバーに複合機と NW カメラの固定 IP アドレスを設定します。

### 1.3. ユーザと顔画像の登録方法

顔認証サーバーへ、顔認証を行うユーザー情報と顔画像を登録します。

#### 2.1. NW カメラの IP アドレスの設定変更

NW カメラ本体に固定 IP アドレスを設定します。

#### 2.2. 画像の転送先の設定変更

画像の転送先として、顔認証サーバーの IP アドレスを設定します。

### 顔認証サーバー内のプリンタグループとユーザグループについて

サーバ管理ツール上、プリンタグループとユーザグループは左図の「プリンタグループ1」と「ユーザグループ1」の関連が設定されております。顔認証サーバーへ新たなグループを追加し複合機、およびユーザーを追加する場合は、「表 1-6 プリンタグループとユーザグループ・ユーザとの関連付け方法」に従って、グループの関連づけを行ってください。

# 1. 顔認証サーバーの設定

## 1.1. 顔認証サーバーの固定 IP の設定変更

顔認証サーバーを導入するネットワーク環境に合わせるため、顔認証サーバー本体のIPアドレスを設定します。

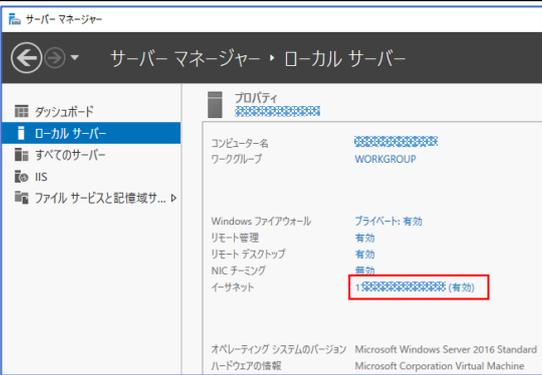
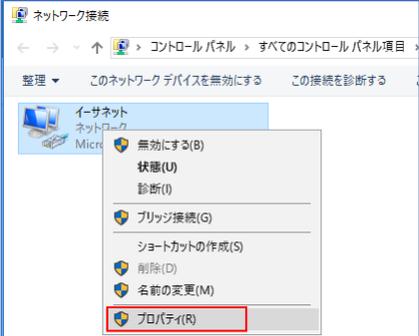
顔認証サーバーに初期設定されているサーバーのIPアドレスは以下通りです。

表 1-1 顔認証サーバーのIPアドレス

項目	設定内容
IPアドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

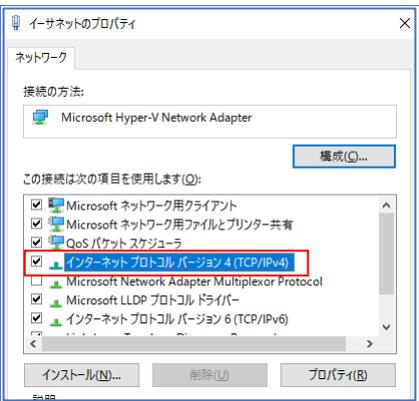
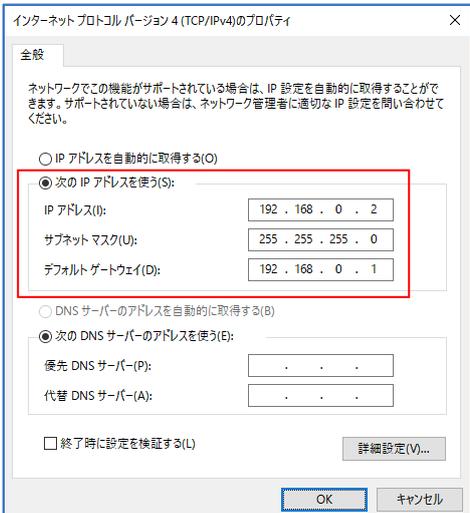
以下の手順で、IPアドレスを変更します。

表 1-2 顔認証サーバーのIPアドレスの変更方法(1/2)

	画面と説明
(1)	 <p>「Windowsロゴキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「サーバー マネージャー」を入力し、表示された「サーバー マネージャー」をクリックします。サーバーマネージャーが表示されると、「ローカルサーバー」を選択し、「イーサネット」の値をクリックします。</p>
(2)	 <p>表示されるネットワーク接続画面で、「イーサネット」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。</p>

(続く)

表 1-2 顔認証サーバーの IP アドレスの変更方法(2/2)

	画面と説明	
(3)		<p>表示されるイーサネットのプロパティ画面で、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」をダブルクリックします。</p>
(4)		<p>左記の画面で、「次のIPアドレスを使う」で、使用されるサーバーのネットワーク情報を「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」に設定します。設定後、「OK」ボタンを押下します。</p>

以上で、顔認証サーバー本体のIPアドレスの設定は終わりです。

## 1.2. 顔認証サーバー上の複合機およびNWカメラの設定変更

顔認証サーバーから複合機、およびNWカメラに接続するため、サーバ管理ツールへ複合機とNWカメラのIPアドレスを設定します。

顔認証サーバーに初期設定されている複合機、NWカメラのIPアドレスは以下通りです。

表 1-3 複合機およびNWカメラの初期設定情報

項目	初期設定内容
複合機名	複合機1
複合機IPアドレス	192.168.0.3
NWカメラIPアドレス	192.168.0.4

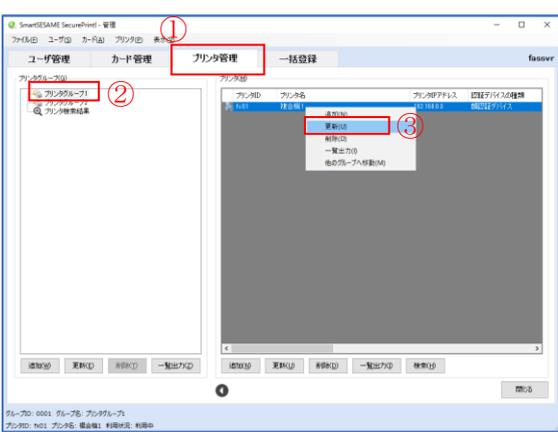
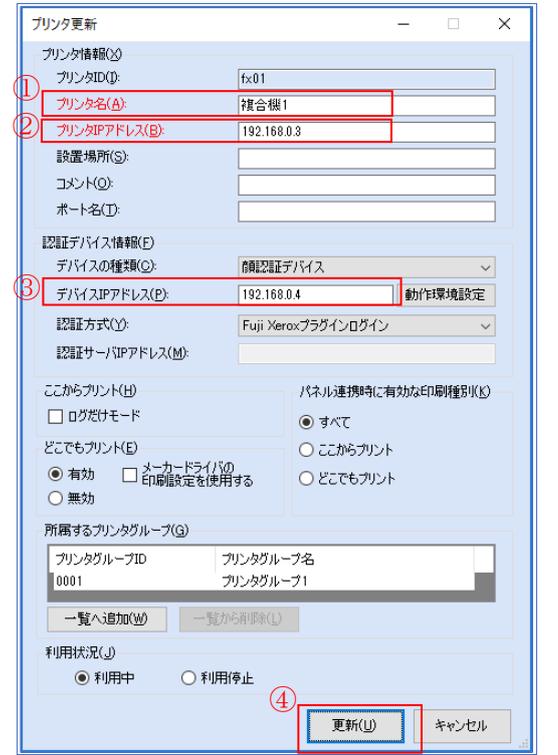
以下の手順で、IPアドレスを変更します。

表 1-4 顔認証サーバー上に登録した複合機、NWカメラ情報の設定変更方法(1/2)

	画面と説明
(1)	 <p>顔認証サーバーのデスクトップ上にあるサーバ管理ツールのアイコンをダブルクリックします。</p> <p>表示される「ログイン認証」画面で以下の情報を入力し、ログインボタンを押下します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザID：fassvr</li> <li>アクセスキー：fassvr</li> </ul> <p>※起動方法の詳細については、「付録2.1 通常の起動方法」を参照してください。</p>
(2)	 <p>表示されるメニュー画面で、「管理」メニューをクリックします。</p>

(続く)

表 1-4 顔認証サーバー上に登録した複合機、NWカメラ情報の設定変更方法(2/2)

画面と説明		
(3)		<p>①表示される管理画面では、「プリンタ管理」タブを選択します。</p> <p>②「プリンタグループ」欄にある「プリンタグループ1」を選択します。</p> <p>③「プリンタ」欄に表示される「複合機1」を選択し、右クリックメニューより「更新」メニューをクリックします。</p> <p>※2台目以降の複合機、およびNWカメラを追加する場合は、「プリンタグループ」欄の「プリンタグループ2」を選択し、右側「プリンタ」欄下部の「追加」ボタンをクリックしてください。</p>
(4)		<p>表示されるプリンタ更新画面では、以下の設定を変更します。</p> <p>①プリンタ名 複合機名を入力してください。</p> <p>②プリンタIPアドレス 複合機のIPアドレスを入力してください。</p> <p>③デバイスIPアドレス 運用されるNWカメラのIPアドレスを入力してください。</p> <p>④入力完了後、「更新」ボタンを押下します。 ※「メーカードライバの印刷設定…」の文字が記載される「情報」メッセージボックスが表示されたら、「OK」ボタンを押下してください。</p>

## ヒント

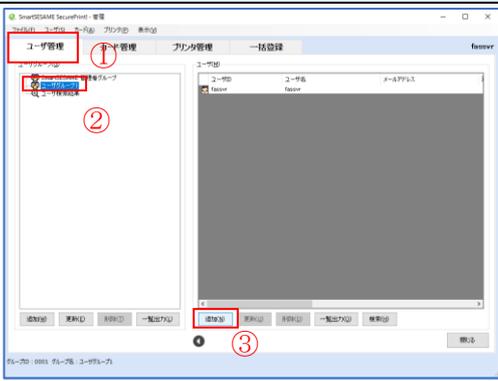
- 複合機の追加の詳細については、「3.2 プリンタの管理」を参照してください。

以上で、顔認証動作確認用複合機とNWカメラの設定は終わりです。

## 1.3. ユーザと顔画像の登録方法

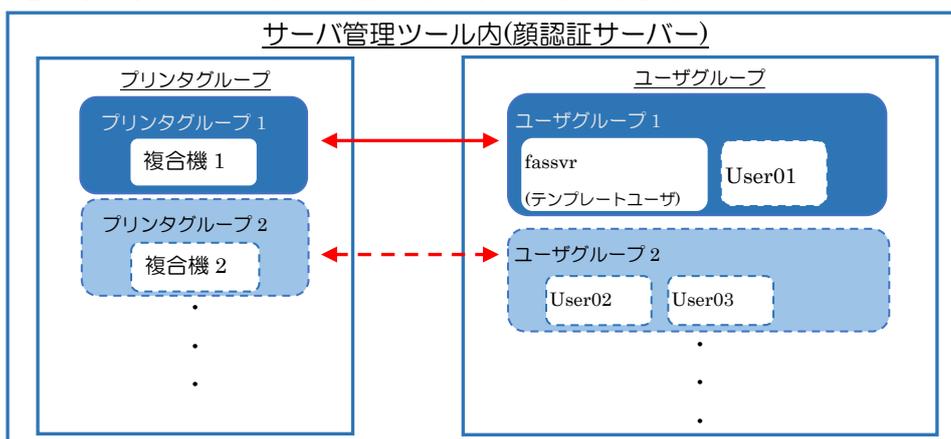
顔認証を利用するには、利用者の情報および利用者の顔画像を顔認証サーバーに登録しなければなりません。利用者の情報および顔画像の登録は、サーバ管理ツールのユーザ管理から行います。下図の登録手順に従い、利用者の情報および顔画像の登録を実施してください。

表 1-5 顔認証サーバー上にユーザ、顔画像を登録する方法

画面と説明	
(1)	 <p>①サーバ管理ツールの管理画面では、「ユーザ管理」タブを選択します。</p> <p>②「ユーザグループ」欄にある「ユーザグループ1」を選択します。</p> <p>③「ユーザ」欄にある「追加」ボタンを押下します。 ※ユーザ「fassvr」は、事前に登録されているシステム管理者のテンプレートユーザです。</p>
(2)	 <p>表示されるユーザ追加画面では、以下の情報を入力し、ユーザ情報、顔画像の登録を行います。</p> <p>①権限区分 該当ユーザの権限に従って、設定を行います。</p> <p>②UserID 該当ユーザのID情報を入力します。</p> <p>③アクセスキー 該当ユーザのアクセスキー情報を入力します。 ※上記①の入力内容が「一般ユーザ」の場合、アクセスキーの設定を省略可能です。「一般ユーザ」以外の場合、アクセスキーの設定が必須です。</p> <p>④ユーザ名 該当ユーザの名称を入力します。</p> <p>⑤左図の赤枠内の「参照」ボタンを押下し、事前に用意されている該当ユーザの顔画像を選択し、登録を行います。</p> <p>⑥「追加」ボタンを押下します。</p>

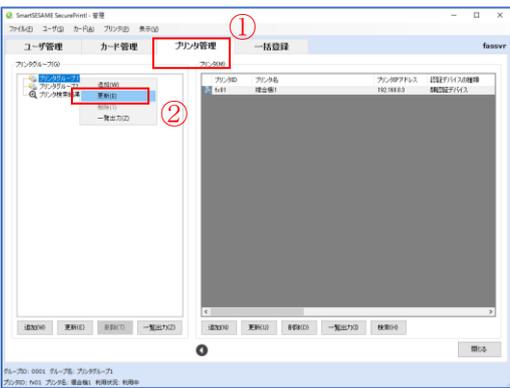
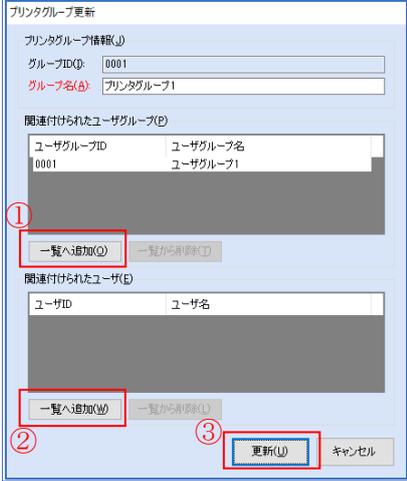
### 注意

- 初期設定では、サーバ管理ツール上の関係は以下となります。



- プリンタグループとユーザグループの関連付けがされていない場合、顔認証ができません。関連付け方法は以下を参照してください。

表 1-6 プリンタグループとユーザグループ・ユーザとの関連付け方法

画面と説明	
(1)	 <p>①サーバ管理ツールの管理画面では、「プリンタ管理」タブを選択します。</p> <p>②画面左側のプリンタグループ枠にある「プリンタグループ1」を選択し、右クリックメニューより「更新」メニューを選択します。</p>
(2)	 <p>①表示されるプリンタグループ更新画面では、ユーザグループと関連づける場合は、「関連付けられたユーザグループ」の枠にある「一覧へ追加」ボタンを押下し、該当のユーザグループを選択します。</p> <p>②ユーザと関連付ける場合は、「関連付けられたユーザ」の枠にある「一覧へ追加」ボタンを押下し、該当のユーザを選択します。</p> <p>③「更新」ボタンを押下し、プリンタグループとユーザグループ、あるいは、ユーザとの関連付けを完了します。</p> <p>※プリンタグループ配下の複合機は、そのプリンタグループに関連付けられたユーザグループ、あるいはユーザのみ利用可能です。</p>

## ヒント

- フェイスマスターの登録画像は、定期的に更新することを検討してください。
- 事前に用意された顔画像が顔と認識されない場合、本システムで提供する付録顔認証モニターツールと、運用で使用するNWカメラで取得することも可能です。取得方法の詳細については、「付録4.2 フェイスマスター登録準備フォルダへの移動」を参照してください。
- メニューバーの「ユーザ」にある「フェイスマスタ登録の動作環境」メニューの各設定項目は、顔画像を検出・照合する際に利用するパラメータです。プリンタ管理側にある「動作環境設定」は、同等の機能を持ち、複合機に紐づくNWカメラごとの顔検出・照合の際に利用されます。また、「フェイスマスタ登録の動作環境」の設定は、プリンタ管理側でデバイスの種類として「顔認証デバイス」を指定した場合の動作環境設定の初期値となります。パラメータの初期値を変更せずに運用することを推奨します。
- 定義したユーザの顔情報は、即時に顔認証システムに反映され、該当ユーザは顔認証を利用することができます。
- ユーザの顔画像が登録されると、ユーザー一覧の人物アイコンの背景が黄色で表示されます。
- 更新でユーザ情報を開いた場合、顔画像の枠に顔画像を取り込んだ日時を表示します。

- 顔画像を一度登録すると、顔画像のみを削除することができません。登録済みの顔画像を削除したい場合は対象のユーザごと削除し、再度ユーザ追加を行ってください。
- ユーザーの追加の詳細については、「3.1 ユーザの管理」を参照してください。

以上で、顔認証動作確認用のユーザー登録は終わりです。

## 1.4. 注意事項

- 顔認証サーバーに同時に接続可能な複合機の台数は、10台までとし、1台に関連付けられるユーザー数の上限は150名となります。それ以上利用される場合、認証時間が遅くなる可能性があります。
- 顔画像は個人情報となるので、法令等に従いお客様側で適切な管理をしてください。

顔認証サーバーの初期設定は以上で終わりです。

## 2. NWカメラの設定

本章では、NWカメラの出荷状態より、NWカメラのIPアドレスの変更がある場合、以下の手順を実施します。

### 注意

- NWカメラと顔認証サーバーは、TCP/IPプロトコルとして、FTP、および、HTTPの通信が可能な環境が必要です。
- 本章で記載している設定以外のNWカメラの設定において、変更を行わないでください。変更した場合、NWカメラが動作しなくなる可能性があります。

### 2.1. NWカメラのIPアドレスの変更

NWカメラを導入するネットワーク環境に合わせるため、NWカメラ本体のIPアドレスを設定します。

NWカメラに初期設定されているIPアドレスは以下通りです。

表 2-1 NWカメラの初期設定IPアドレス

項目	初期設定内容
NWカメラIPアドレス	192.168.0.4

以下の手順で、IPアドレスを変更します。

表 2-2 NWカメラのIPアドレスの変更(1/2)

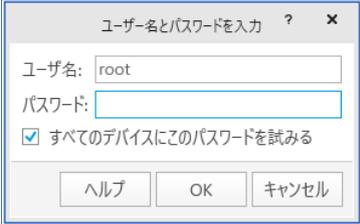
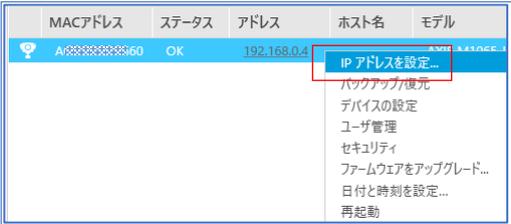
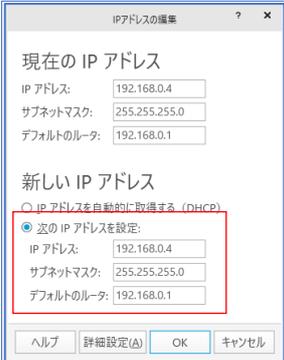
	画面と説明
(1)	 <p>顔認証サーバーのデスクトップ上にある「AXIS Device Manager Client」ショットカットキー  をダブルクリックします。</p> <p>表示される「製品を追加」画面(左図)では、赤枠の「パスワードを入力」を選択します。</p> <p>※「AXIS Device Manager Client」画面上で「製品を追加」画面が自動で表示されない場合は、「AXIS Device Manager Client」画面の左上にある「製品を追加」アイコン  を押下してください。</p> <p>※「パスワードを入力」が表示されない(顔認証サーバーのIPアドレスを先の手順で変更しておりセグメントが異なるため) ことがある。その時は(3)に進んでください。</p>
(2)	 <p>表示される「ユーザー名とパスワードを入力」画面で、以下の情報を入力し、「OK」ボタンを押下します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザー名 : root</li> <li>• パスワード : fassvr@11</li> </ul>

表 2-2 NWカメラのIPアドレスの変更(2/2)

画面と説明		
(3)		<p>「製品を追加」画面で、該当のNWカメラがチェックされ、「次へ」ボタン、「完了」ボタンを押下することで、NWカメラは「AXIS Device Manager Client」画面に登録されます。</p>
(4)		<p>「AXIS Device Manager Client」画面に登録されたNWカメラを右クリックし、「IPアドレスを設定」メニューを選択します。</p> <p>※「この操作の実行中は選択した製品にアクセスできなくなります。続けてもよろしいですか。」の確認メッセージ画面が表示されたら、「はい」ボタンを押下します。</p>
(5)		<p>表示される「IPアドレスの編集」画面で、新しいIPアドレスの「次のIPアドレスを設定」を選択し、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトのルータ」で正しいネットワーク情報(固定IPアドレスを利用して下さい)を設定し、「OK」ボタンを選択します。</p>
(6)		<p>しばらくすると、「AXIS Device Manager Client」画面の右下に、「IPアドレスを設定タスクが完了しました。」のポップアップメッセージが表示され、選択すると、左記の変更完了の画面が表示されます。</p> <p>「AXIS Device Manager Client」画面では、該当のNWカメラのステータスが「OK」と表示されると、NWカメラのIPの設定変更作業が完了になります。</p>

以上で、NWカメラ本体のIPアドレスの設定は終わりです。

## 2.2. 画像の転送先の設定変更

NWカメラで撮った画像を顔認証サーバーへアップロードする場所を指定します。

### 注意

- 顔認証で使用するNWカメラはAXIS社製カメラです。
- 設定にはChromeをご利用ください。ブラウザを最新バージョンで利用することを推奨します。
- ファームウェアバージョン「8.40.3」での利用を推奨します。弊社からファームウェアのアップデートの案内がある以外に、ファームウェアをアップデートしないようにお願いします。本節では、ファームウェアバージョン「8.40.3」のAXISカメラに基づいて説明します。

表 2-3 画像の転送先の設定(1/3)

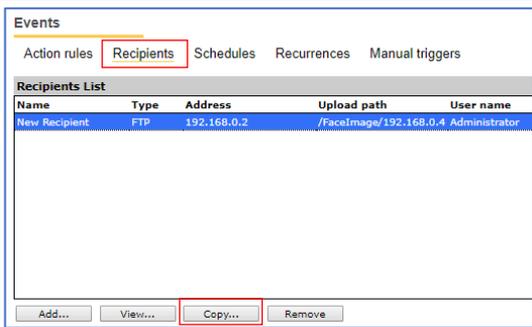
	画面と説明	
(1)		<p>Webブラウザのアドレスバーに以下のように入力し、設定対象のNWカメラのWEBサイトを開きます。</p> <p><u><a href="http://NWカメラのIPアドレス">http://NWカメラのIPアドレス</a></u></p> <p>①AXISのNWカメラの管理者ユーザ名「root」を入力します。</p> <p>②パスワードに「fassvr@11」を入力します。</p> <p>③「ログイン」ボタンをクリックします。</p>
(2)		<p>①表示される「AXIS M1065-L Network Camera」ページの右下に黄色の「設定」ボタン  があります。「設定」ボタンを選択します。</p> <p>②開かれる画面で、「システム」タブを選択し、「イベント」を選択します。</p>
(3)		<p>①表示される「Events」ページでは、「Recipients」タブを選択し、既に登録されている「New Recipient」を選択後、「Copy」ボタンを押下します。</p> <p>③「Recipient Setup」ページが表示されます。</p> <p>※上記作成後、既存の「New Recipient」を削除いたいても構いません。</p>

表 2-3 画像の転送先の設定(2/3)

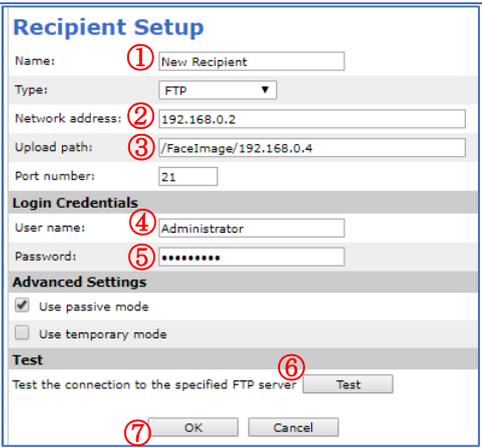
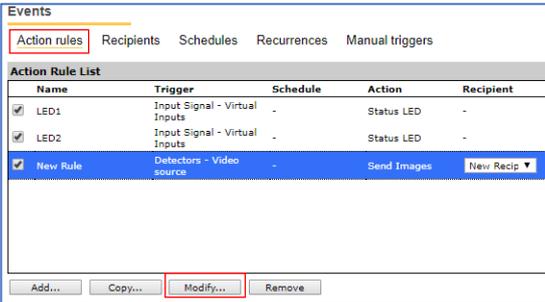
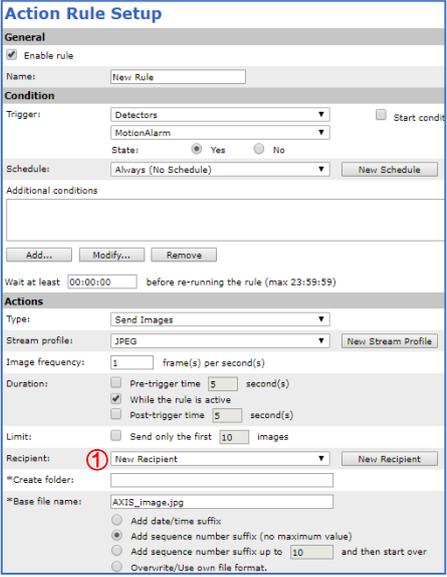
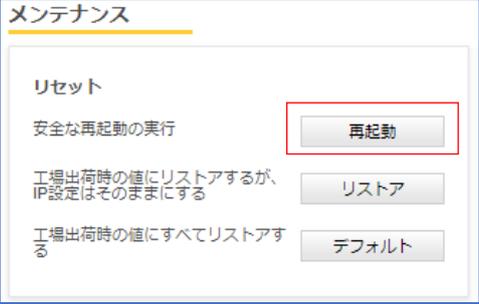
画面と説明	
<p>(4)</p>	 <p>「Recipient Setup」ページで送信先の設定を以下とおり、設定してください。</p> <p>①：Nameに任意の名称を設定します。 ※既存の名称「New Recipient」と識別できるように、「New Recipient」以外の任意の名称を設定してください。</p> <p>②：Network addressに顔認証サーバーのIPアドレスを入力します。</p> <p>③：Upload pathに画像の転送先フォルダを「/FaceImage/xxx.xxx.xxx.xxx」(「xxx.xxx.xxx.xxx」はNWカメラのIPアドレス)の形式で入力します。</p> <p>④：すでに「Administrator」が設定されているため、入力不要です。入力が必要な場合、顔認証サーバーのユーザーアカウントを入力してください。</p> <p>⑤：すでにパスワードが設定されているため、入力不要です。入力が必要な場合、また、顔認証サーバーのユーザーアカウントのパスワードを変更した場合、ここに正しいパスワードを入力してください。</p> <p>⑥：「Test」ボタンを押下し、NWカメラと顔認証サーバーとの通信が可能かどうかを確認します。「Upload Successful」のメッセージが表示されたら、NWカメラに設定した情報が正しい、かつ通信可能とのことになります。「Upload failed」が表示されたら、上記④、⑤の情報が正しいかを確認してください。</p> <p>⑦「OK」ボタンをクリックします。</p>
<p>(5)</p>	 <p>①「Recipients」のとなりにある「Action Rules」を選択します。</p> <p>②登録されている「New Rule」を選択し、「Modify」ボタンを押下します。</p> <p>③「Action Rule Setup」ページが表示されます。</p>

表 2-3 画像の転送先の設定(3/3)

画面と説明		
(6)		<p>「Action Rule Setup」ページで以下のように設定してください。</p> <p>①：Recipientで上記(1)、(2)で設定した新しい転送先を選択し、送信先として設定します。</p> <p>②：「OK」ボタンを押下します。</p>
(7)		<p>NWカメラの再起動を行います。</p> <p>「システム」タブの「メンテナンス」を選択します。</p>
(8)		<p>表示される「メンテナンス」ページでは、「再起動」ボタンを選択し、NWカメラを再起動してください。</p>

### ヒント

- AXISカメラのほかの設定内容の詳細については、「2.3 その他任意設定項目」、または、「付録1.2 AXIS M1065-Lの詳細設定」を参照してください。

以上で、NWカメラから顔認証サーバーへアクセスするための設定は  
終わりです。

## 2.3. その他任意設定項目

以下の項目は必須設定項目ではありません。お客様の環境に応じて、必要な場合のみ設定を行ってください。

### 1) NWカメラの180度回転

お客様の環境に応じて、NWカメラを180度回転して、配置する必要がある場合は、以下を参照しながら、NWカメラの撮影角度も変更してください。

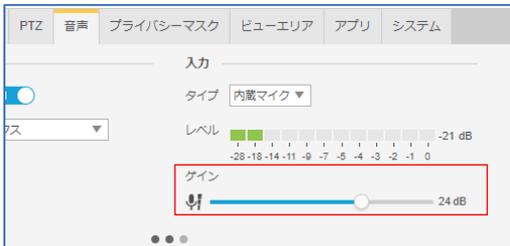
表 2-4 NWカメラの180度回転

画面と説明	
	<p>表示される画面の右下にある黄色の「設定」ボタンをクリックします。</p> <p>「ストリーム」タブを選択すると、左記の画面が表示されます。</p> <p>「向き」の「回転」で180を選択します。</p>

### 2) 音声ボリューム調整

AXISカメラのボリューム調整は可能です。以下手順に従い、設定を行ってください。

表 2-5 NWカメラの音声ボリュームの調整

画面と説明	
	<p>「音声」タブを選択します。</p> <p>「ゲイン」で音声のボリュームを調整できます。</p>

### 3) ナイトモード

AXISカメラのナイトモードで撮影する場合、撮影した画像のサイズが小さくなります。以下の設定を参照し、ナイトモードに設定してからAXISカメラを利用することを推奨します。

表 2-6 NWカメラのナイトモード設定

画面と説明	
	<p>「画像」タブを選択します。</p> <p>デイナイト機能の「IRカットフィルター」を選択し、「オフ」に設定します。</p> <p>※ 「赤外線照明を許可」を有効にしてください。</p>

NWカメラの初期設置は以上で終わりです。

# 運用

## 3. ユーザ管理およびプリンタ管理

管理では、本システムが管理しているユーザ情報、プリンタ情報の登録やメンテナンスを行うことができます。また、一括でそれらの情報を登録することもできます。

管理は、管理メニューから「管理」を選択することで起動します。

### 3.1. ユーザの管理

ユーザの管理では、本システムの利用ユーザと利用ユーザが所属するユーザグループについて、登録やメンテナンスを行うことができます。

#### 3.1.1. ユーザ管理画面

管理メニューから「管理」を選択すると、「ユーザ管理」画面が表示されます。ユーザ管理画面では、左側にユーザグループをツリー階層で表示し、選択されたユーザグループに所属するユーザ情報を右側に一覧で表示します。



図 3-1 ユーザ管理画面

ユーザグループは、7階層の構成が可能で、全ユーザグループをユーザ管理画面の左側にツリー形式で表示します。

ユーザグループの管理機能を以下に記します。

表 3-1 ユーザグループについての管理機能

機能	説明	詳細
追加	ユーザグループ情報を新規に追加します。	3.1.2
更新	選択された登録済みユーザグループのメンテナンスを行います。	3.1.3
削除	選択された登録済みユーザグループの削除を行います。	3.1.4
一覧出力	登録済みユーザグループを CSV ファイルへ出力します。	3.1.5

選択されたユーザグループに所属するユーザは、ユーザ管理画面の右側にユーザー一覧として表示されます。ユーザについての管理機能を以下に記します。

表 3-2 ユーザについての管理機能

機能	説明	詳細
追加	ユーザ情報を新規に追加します。	3.1.6
更新	選択された登録済みユーザのメンテナンスを行います。	3.1.7
削除	選択された登録済みユーザの削除を行います。	3.1.8
他のグループへ移動	ユーザを他のユーザグループへ移動します。 ※メニューバーと右クリックメニューのみでサポートします。	3.1.9
一覧出力	登録済みユーザを CSV ファイルへ出力します。	3.1.10
検索	登録済みユーザの検索を行います。 検索結果は、ユーザグループツリーの“検索結果”に表示します。	3.1.11

上記のユーザ管理機能、および、ユーザグループ管理機能は、コマンドボタン、メニューバー、右クリックメニューから対象データの状況に応じて実施可能です。

選択中のユーザグループ情報、ユーザ情報、および、ユーザグループに所属するユーザの件数は、ステータスバーに表示します。

ユーザの件数が1ページの表示行数（デフォルト値1000件）を超えた場合、前ページ・次ページボタンを表示し、ボタンをクリックするとページが切り替わります。

## ➤ 顔画像の登録をした場合

顔画像の登録をすると、ユーザー一覧画面に表示される人物アイコンの背景色が黄色に変化します。ユーザー一覧画面にて、人物アイコンの背景色が変化することにより、どのユーザが顔写真を登録しているか一目で判断することができます。

図 3-2 顔画像の登録をした場合のユーザ管理画面



ユーザID	ユーザ名	メールアドレス
h-higashi	東日本花子	h-higashi@s
j-nishi	西日本太郎	j-nishi@ses
s-osaka	大阪次郎	s-osaka@se
s-wakayama	和歌山三郎	s-wakayam
t-kagoshima	鹿児島太郎	t-kagoshim

表 3-3 アイコン背景色の状態

状態	内容
背景色が黄色	顔認証を利用する環境において、顔画像を登録したユーザ
背景色が無色	顔画像が登録されていないユーザ

### ヒント

- 顔認証を利用する環境において、サーバ管理ツール起動後のユーザ管理画面を最初に表示する際に時間がかかります。一度、ユーザ管理画面を表示すると、その限りではありません。

### 3.1.2. ユーザグループの追加

ユーザグループの「追加」ボタンをクリックすると、以下のユーザグループ追加画面を表示します。「表 3-4 ユーザグループ項目」の内容に従って設定し、「追加」ボタンをクリックしてください。

図 3-3 ユーザグループ追加画面

ユーザグループの追加が完了すると、追加画面を再表示します。連続して入力しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

#### 注意

- ログインユーザが部門管理者の場合、親グループは自動的に決まるのでルートグループのチェックボタンは表示されません。

表 3-4 ユーザグループ項目

項目	内容
グループ選択	ユーザグループの第一階層である「ルートグループ」、もしくは選択中のグループを親グループとするか選択します。
グループ ID	全ユーザグループで一意的な ID を 32 文字以内の全角・半角文字（※1）で指定します。グループ ID を管理しない場合は、下記の自動発番機能を使って、システムが任意に割当てたグループ ID を使用してください。
グループ名	ユーザグループを識別する名前を 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。
使用可能プリンタグループ	ユーザグループが利用可能なプリンタグループが表示されます。
自動発番	グループ ID を自動的に発番します。

※ 赤字が入力必須項目です。

※1 グループ ID の先頭に「'」（シングルクォーテーション）、「#」（シャープ）を指定できません。

### 3.1.3. ユーザグループの更新

ユーザグループより更新対象のグループを指定し、「更新」ボタンをクリックすると、以下のユーザグループ画面を表示します。「表 3-4 ユーザグループ項目」の内容に従って設定し、「更新」ボタンをクリックしてください。

図 3-4 ユーザグループ更新画面

#### 注意

- 更新可能な項目は、ユーザグループ名のみです。他の項目を更新する場合は、一旦ユーザグループを削除し、新たにユーザグループを追加し、使用可能なプリンタグループを確認してください。

### 3.1.4. ユーザグループの削除

ユーザグループより削除対象のグループを指定し、「削除」ボタンをクリックすると、以下のユーザグループ削除画面を表示します。「削除」ボタンをクリックし、ユーザグループを削除することができます。

図 3-5 ユーザグループ削除確認画面

#### 注意

- ユーザが登録されている場合、または、親グループの場合は、ユーザグループを削除できません。所属するユーザをすべて削除する、または、子グループを最初に削除してください。

### 3.1.5. ユーザグループの一覧出力

表示されているユーザグループ情報は、CSVファイルに出力することができます。

ユーザグループ情報を出力するには、ユーザグループの「一覧出力」ボタンをクリックし、以下の画面でファイルの出力先を指定して、「保存」ボタンをクリックしてください。

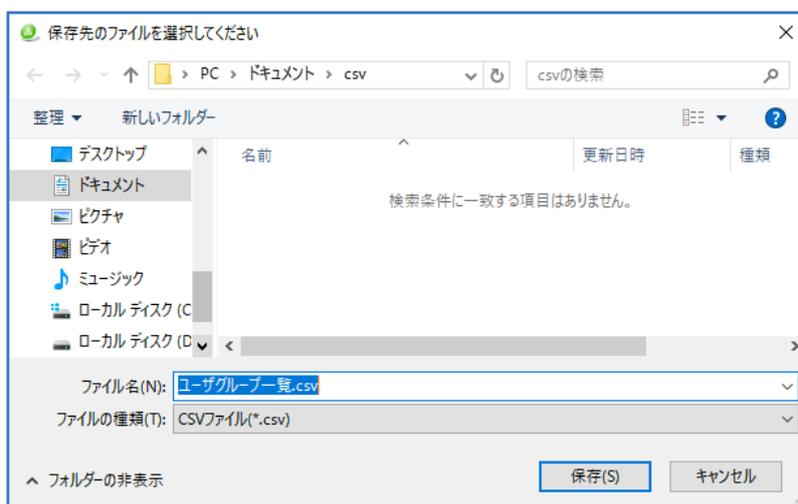


図 3-6 ユーザグループ一覧出力先指定画面

#### 注意

- 保存したファイルには、全ユーザグループを出力します。任意のユーザグループのみの出力は行えません。

### 3.1.6. ユーザの追加

ユーザの「追加」ボタンをクリックすると、以下のユーザ追加画面を表示します。「表 3-5 ユーザ情報項目」の内容に従って設定し、「追加」ボタンをクリックしてください。

ユーザ追加

利用者情報(Z)

権限区分(B): 一般ユーザ

ユーザID(I):

アクセスキー(K):

ユーザ名(S):

フリガナ(F):

メールアドレス(E):

所在地(A):

参照(Y)

NO IMAGE

ユーザグループ情報(S)

グループID	グループ名
0001	ユーザグループ

グループを追加(O)    グループを削除(I)

カード情報(C)

カードID	カード説明	有効期限	利用状況
-------	-------	------	------

既存カードを追加(X)    新規カードを追加(W)    カードを削除(L)

追加(N)    キャンセル

図 3-7 ユーザ追加画面

ユーザの追加が完了すると、追加画面を再表示します。連続して入力しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

表 3-5 ユーザ情報項目

項目	内容				
権限区分	<p>ユーザに与える権限を指定します。ログインユーザが部門管理者の場合、権限区分に「システム管理者」は選択できません。</p> <p>詳細については、「表 付録 2-4 権限と利用制限」をご参照ください。</p> <p>※本項目は、複合機側の権限とは関係ありません。</p>				
ユーザ ID	ユーザ ID を 256 文字以内の全角・半角文字（※1）指定します。導入組織で一意的な値を指定してください。				
アクセスキー	認証プリントを行うためのアクセスキーを 256 文字以内の半角文字（カナ除く）で指定します。				
ユーザ名	ユーザ名を 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。				
フリガナ	ユーザ名のフリガナを 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。				
メールアドレス	メールアドレスを 256 文字以内の半角文字で指定します。メールアドレスの書式に従っている必要があります。				
所在地	所在地や作業場所などを 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。				
画像	<p>顔画像の登録をした際、登録した画像が表示されます。</p> <p>ただし、状況によっては、以下の画像を表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>画像表示</th> <th>原因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NO IMAGE</td> <td>顔認証を利用する環境において、該当ユーザに顔画像が登録されていません。</td> </tr> </tbody> </table>	画像表示	原因	NO IMAGE	顔認証を利用する環境において、該当ユーザに顔画像が登録されていません。
画像表示	原因				
NO IMAGE	顔認証を利用する環境において、該当ユーザに顔画像が登録されていません。				
参照	顔画像の追加、更新ができます。				
ユーザグループ情報	<p>ユーザが所属するユーザグループの一覧です。ここから所属するユーザグループの追加や所属しているユーザグループからの削除を行うことができます。</p> <p>ユーザグループ情報の選択では、以下の補助機能があります。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>グループを追加</td> <td>ユーザが所属するグループを追加することができます。</td> </tr> <tr> <td>グループを削除</td> <td>ユーザが所属するグループを削除することができます。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本項目は、複合機側の権限とは関係ありません。</p>	グループを追加	ユーザが所属するグループを追加することができます。	グループを削除	ユーザが所属するグループを削除することができます。
グループを追加	ユーザが所属するグループを追加することができます。				
グループを削除	ユーザが所属するグループを削除することができます。				
カード情報	<p>ユーザが使用するカード情報の一覧です。ここからカード情報の追加やカード情報の削除を行うことができます。</p> <p>※複合機対応顔認証機能では、カードを利用しないため、カードの登録は不要です。</p>				

※ 赤字が入力必須項目です。ただし、権限区分が「一般ユーザ」の場合は、アクセスキーの省略が可能です。

※1 ユーザ ID の先頭に「」（シングルクォーテーション）、「#」（シャープ）を指定できません。

### 3.1.7. ユーザの更新

ユーザ管理画面のユーザリストから、更新対象のユーザを選択して「更新」ボタンをクリックすると、以下のユーザ更新画面を表示します。「表 3-5 ユーザ情報項目」の内容に従って設定し、「更新」ボタンをクリックしてください。

図 3-8 ユーザ更新画面

#### 注意

- ユーザ情報の更新を部門管理者が行う場合、更新対象のユーザ権限によって更新可能な内容が制限されます。詳細は「表 3-6 部門管理者による更新可能な内容」をご参照ください。

表 3-6 部門管理者による更新可能な内容

更新対象ユーザ権限	更新	削除
一般ユーザ	○	○
スポット管理者	○	○
部門管理者(自分以外)	○	○
部門管理者(自分)	△ (権限変更は不可)	×
システム管理者	△ (参照のみ可能)	×

○：可能、△：一部可能、×：不可

- 権限の変更は、次回のログインから有効になります。

### 3.1.8. ユーザの削除

ユーザ管理画面のユーザリストから、削除対象のユーザを選択して「ユーザ削除」ボタンをクリックすると、以下のユーザ削除画面を表示します。「削除」ボタンをクリックすると、ユーザ情報を削除できます。ユーザが削除される場合、ユーザの顔情報も同時に削除されます。

グループID	グループ名
0001	ユーザグループ

カードID	カード説明	有効期限	利用状況
-------	-------	------	------

図 3-9 ユーザ削除確認画面

#### ヒント

- ユーザ管理画面のユーザリストにおいて、複数のユーザを削除することができます。複数のユーザを削除する場合は、「Ctrl」を押しながら削除対象のユーザを選択し（すべての場合は「Ctrl+A」）、「削除」ボタンをクリックしてください。

### 3.1.9. ユーザのグループ移動

ユーザ管理画面のユーザリストから、移動対象のユーザを選択して右クリックし、「他のグループへ移動」を選択すると、以下のユーザグループ情報一覧画面を表示します。移動先のグループを選択し、「選択」ボタンをクリックしてください。

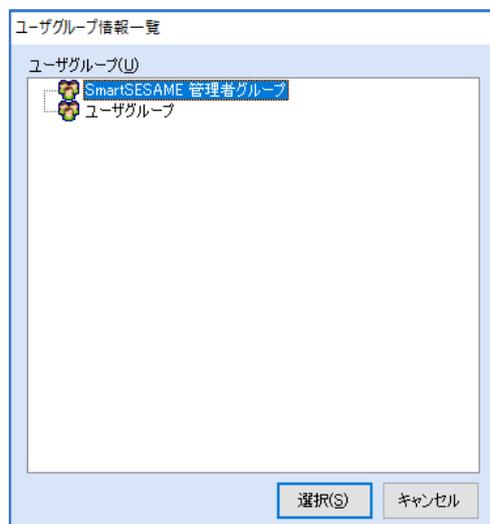


図 3-10 ユーザグループ情報一覧画面

ユーザのグループ移動は、メニューバー、右クリックメニューから実行可能です。

#### ヒント

- ユーザリストにおいて、複数のユーザを選択して他のグループへ移動することができます。複数のユーザを移動する場合は、「Ctrl」を押しながら移動対象のユーザを選択し（すべての場合は「Ctrl+A」）、右クリックメニューの「他のグループへ移動」メニューをクリックしてください。
- 複数ユーザを選択して、移動できる最大ユーザ数は10名までです。

#### 注意

- 「ユーザ検索結果」に表示するユーザー一覧のユーザに対しては、本機能が行えません。

### 3.1.10. ユーザの一覧出力

ユーザの「一覧出力」ボタンをクリックすると、以下のユーザー一覧出力指定画面を表示します。

「表 3-5 ユーザ情報項目」に従って検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に一致するユーザのリストを表示し、「出力」ボタンをクリックすると、リスト表示されたユーザ情報が出力されます。

図 3-11 ユーザー一覧出力画面

#### ヒント

- 検索条件を何も指定しないまま検索実行すると、検索時間が長くなり、すべてのユーザがリストに表示されるため、リソースを圧迫します。条件を絞り込んで検索することを推奨します。
- ユーザID、ユーザ名、メールアドレス、所在地は部分一致で検索します。
- ◀ ボタンをクリックすると、検索条件が隠れ、ユーザ情報が全面に表示されます。検索条件を再表示するには、▶ ボタンをクリックします。
- 検索結果に表示されているユーザの件数、および、検索条件に一致したユーザの総件数は、ステータスバーに表示します。
- ユーザの件数が1ページの表示行数（デフォルト値1000件）を超えた場合、前ページ・次ページボタンを表示し、ボタンをクリックするとページが切り替わります。

#### 注意

- ユーザ管理のユーザー一覧出力機能において、ユーザー一覧情報を出力しても、顔画像の情報は出力されません。
- ユーザ顔画像の登録は、ユーザ管理の個々のユーザのユーザ追加、あるいは、ユーザ更新画面から実施してください。

### 3.1.11. ユーザの検索

たくさんのユーザ情報が表示されているユーザ管理画面から、該当のユーザを選択することは手間で、時間がかかります。この不便さを解消するために、本システムではユーザ検索を設けています。

ユーザ管理画面の「検索」ボタンをクリックすると、以下のユーザ検索画面を表示します。ユーザ検索画面で「表 3-5 ユーザ情報項目」に従って検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に一致するユーザがリスト表示されます。ユーザリストから該当のユーザを選択することで、目的のユーザにすばやくたどり着くことができます。

ユーザグループ名	ユーザID	ユーザ名
SmartSESAME 管理者グル...	sesamebuiltin	SmartSESAME ビル...
ユーザグループ	fassvr	fassvr

図 3-12 ユーザ検索画面

#### ヒント

- 検索条件を何も指定しないまま検索実行すると、検索時間が長くなり、すべてのユーザがリストに表示されるため、リソースを圧迫します。条件を絞り込んで検索することを推奨します。
- ユーザID、ユーザ名、メールアドレス、所在地は部分一致で検索します。
- リスト表示されたユーザを選択し、「選択」ボタンをクリック、あるいは、ダブルクリックすると、ユーザ管理画面に戻り、該当のユーザに位置づきます。
- ここで表示されたユーザリストは、ユーザ管理画面の「ユーザグループ検索結果」にも表示されます。
- ◀ ボタンをクリックすると、検索条件が隠れ、ユーザ情報が全面に表示されます。検索条件を再表示するには、▶ ボタンをクリックします。
- 検索結果に表示されているユーザの件数、および、検索条件に一致したユーザの総件数は、ステータスバーに表示します。
- ユーザの件数が1ページの表示行数（デフォルト値1000件）を超えた場合、前ページ・次ページボタンを表示し、ボタンをクリックするとページが切り替わります。

## 3.2. プリンタの管理

プリンタの管理では、本システムで管理しているプリンタと、プリンタの所属するプリンタグループの登録やメンテナンスを行うことができます。

### 3.2.1 プリンタ管理画面

管理メニューから「管理」を選択し、「プリンタ管理」タブへ移動すると、以下のプリンタ管理画面を表示します。プリンタ管理画面では、左側に現在登録されているプリンタグループをツリー階層で表示し、選択されたプリンタグループに所属するプリンタ情報を右側に一覧で表示します。

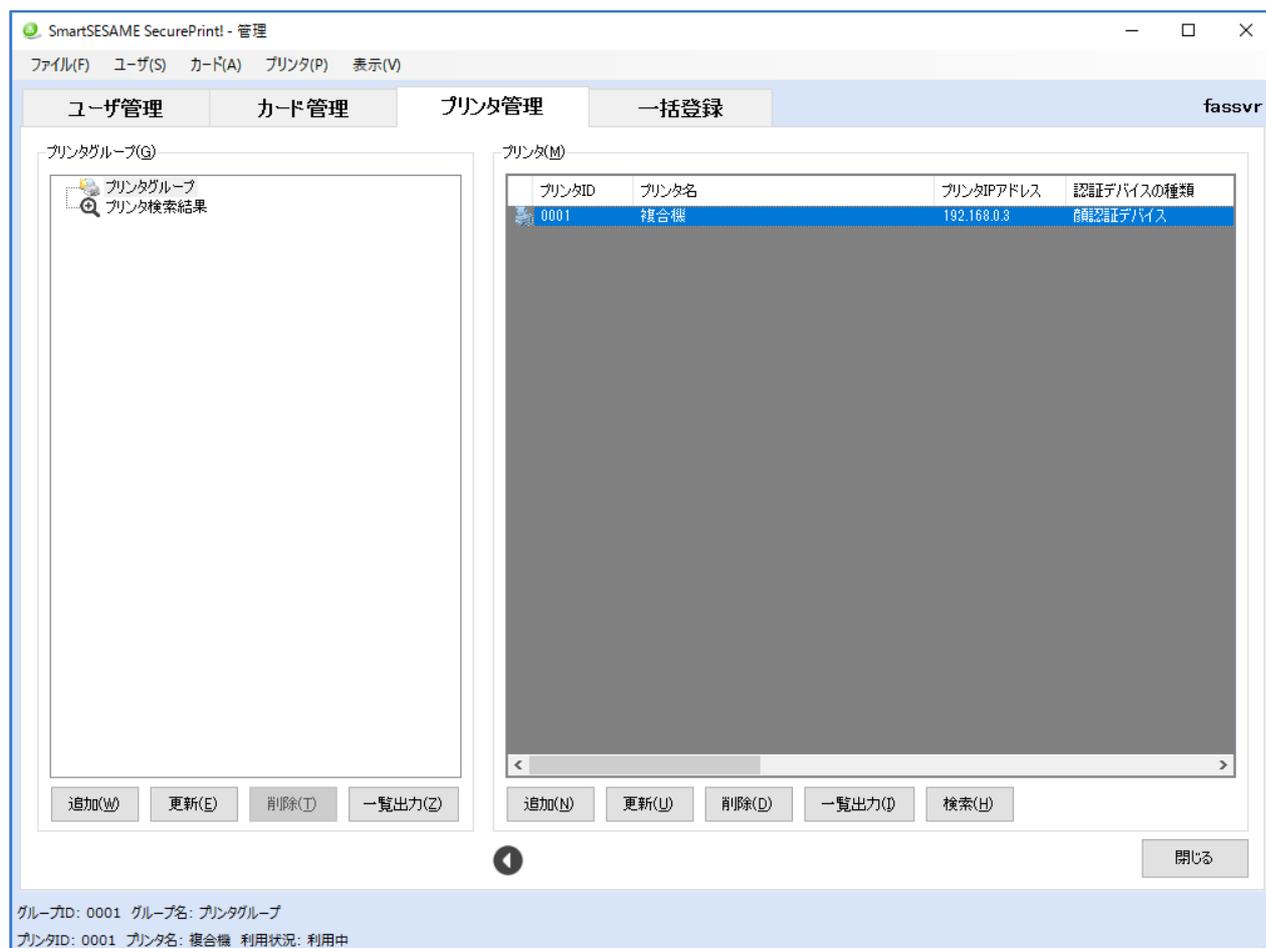


図 3-13 プリンタ管理画面

プリンタグループは、1階層の構成であり、全プリンタグループをプリンタ管理画面の左側にツリー形式で表示します。プリンタグループの管理機能を以下に記します。

表 3-7 プリンタグループの管理機能

機能	説明	詳細
追加	プリンタグループ情報を新規に追加します。	3.2.2
更新	選択された登録済みプリンタグループのメンテナンスを行います。	3.2.3
削除	選択された登録済みプリンタグループの削除を行います。	3.2.4
一覧出力	登録済みプリンタグループを CSV ファイルへ出力します。	3.2.5

選択されたプリンタグループに所属するプリンタは、プリンタ管理画面の右側にプリンター一覧として表示されます。プリンタについての管理機能を以下に記します。

表 3-8 プリンタについての管理機能

機能	説明	詳細
追加	プリンタ情報を新規に追加します。	3.2.6
更新	選択された登録済みプリンタのメンテナンスを行います。	3.2.7
削除	選択された登録済みプリンタの削除を行います。	3.2.8
他の グループ へ移動	プリンタを他のプリンタグループへ移動します。	3.2.9
一覧出力	登録済みプリンタを CSV ファイルへ出力します。	3.2.10
検索	登録済みプリンタの検索を行います。 検索結果は、プリンタグループツリーの“検索結果”に表示します。	3.2.11

上記のプリンタ管理機能、および、プリンタグループ管理機能は、コマンドボタン、メニューバー、右クリックメニューから対象データの状況に応じて実施可能です。

選択中のプリンタグループ情報、および、プリンタ情報は、ステータスバーに表示します。

## 3.2.2 プリンタグループの追加

プリンタグループの「追加」ボタンをクリックすると、以下のプリンタグループ追加画面を表示します。「表 3-9 プリンタグループ項目」の内容に従って設定し、「追加」ボタンをクリックしてください。

図 3-14 プリンタグループ追加画面

プリンタグループの追加が完了すると、追加画面を再表示します。連続して入力しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

### ヒント

- プリンタグループの使用制限を行う場合のみ、「関連付けられたユーザグループ」、および、「関連付けられたユーザ」を設定してください。使用制限なしの場合は、グループID、および、グループ名のみ設定してください。

### ➤ 顔認証ログインを利用する場合

顔認証ログインをするユーザ、または、ユーザグループと、顔認証ログインをする対象プリンタは、サーバ管理ツールにて紐づける必要があります。

上記「図 3-14 プリンタグループ追加画面」にて「関連付けられたユーザグループ」、または、「関連付けられたユーザ」の「一覧へ追加」ボタンをクリックし、顔認証ログインをする対象のユーザ、または、ユーザグループを追加してください。

### 注意

- 顔認証ログインを利用したい場合、上記設定を行っていないユーザグループ、または、ユーザは顔認証ログインを利用することができません。

表 3-9 プリンタグループ項目

項目	内容				
グループ ID	全プリンタで一意的なプリンタグループ ID を 32 文字以内の全角・半角文字（※1）で指定します。グループ ID を管理しない場合は、下記の自動発番機能を使って、システムが任意に割当てたグループ ID を使用してください。				
自動発番	グループ ID を自動的に発番します。				
グループ名	プリンタグループ名を 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。				
関連付けられたユーザグループ	プリンタの使用許可が与えられているユーザグループです。 関連付けられたユーザグループの指定では、以下のコマンドボタンが用意されています。 <table border="1" data-bbox="496 629 1418 786"> <tr> <td>一覧へ追加</td> <td>プリンタに使用許可を与えるユーザグループを追加します。</td> </tr> <tr> <td>一覧から削除</td> <td>プリンタの使用許可を与えるユーザグループを削除します。</td> </tr> </table>	一覧へ追加	プリンタに使用許可を与えるユーザグループを追加します。	一覧から削除	プリンタの使用許可を与えるユーザグループを削除します。
一覧へ追加	プリンタに使用許可を与えるユーザグループを追加します。				
一覧から削除	プリンタの使用許可を与えるユーザグループを削除します。				
関連付けられたユーザ	プリンタの使用許可が与えられているユーザです。 関連付けられたユーザの指定では、以下のコマンドボタンが用意されています。 <table border="1" data-bbox="496 904 1418 981"> <tr> <td>一覧へ追加</td> <td>プリンタに使用許可を与えるユーザを追加します。</td> </tr> <tr> <td>一覧から削除</td> <td>プリンタに使用許可を与えるユーザを削除します。</td> </tr> </table>	一覧へ追加	プリンタに使用許可を与えるユーザを追加します。	一覧から削除	プリンタに使用許可を与えるユーザを削除します。
一覧へ追加	プリンタに使用許可を与えるユーザを追加します。				
一覧から削除	プリンタに使用許可を与えるユーザを削除します。				

※ 赤字が入力必須項目です。

※1 グループ ID の先頭に「'」（シングルクォーテーション）、「#」（シャープ）を指定できません。

### 3.2.3 プリンタグループの更新

プリンタグループツリーより更新対象のグループを指定し、「更新」ボタンをクリックすると、以下のプリンタグループ更新画面を表示します。「表 3-9 プリンタグループ項目」の内容に従って設定し、「更新」ボタンをクリックしてください。

プリンタグループ更新

プリンタグループ情報(J)

グループID(I): 0002

グループ名(A): 東日本営業部

関連付けられたユーザグループ(P)

ユーザグループID	ユーザグループ名
-----------	----------

一覧へ追加(Q) 一覧から削除(I)

関連付けられたユーザ(E)

ユーザID	ユーザ名
-------	------

一覧へ追加(W) 一覧から削除(L)

更新(U) キャンセル

図 3-15 プリンタグループ更新画面

### 3.2.4 プリンタグループの削除

プリンタグループツリーより削除対象のグループを指定し、「削除」ボタンをクリックすると、以下のプリンタグループ削除画面を表示します。「削除」ボタンをクリックし、プリンタグループを削除することができます。

プリンタグループ削除確認

プリンタグループ情報(D)

グループID(D): 0002

グループ名(A): 東日本営業部

関連付けられたユーザグループ(E)

ユーザグループID	ユーザグループ名
[Greyed out area]	

関連付けられたユーザ(E)

ユーザID	ユーザ名
[Greyed out area]	

削除(D) キャンセル

図 3-16 プリンタグループ削除画面

#### 注意

- 削除対象のプリンタグループは、プリンタが登録されている場合は削除できません。所属するプリンタを最初に削除してください。

## 3.2.5 プリンタグループの一覧出力

表示されているプリンタグループ情報は、CSVファイルに出力することができます。

プリンタグループ情報を出力するには、プリンタグループの「一覧出力」ボタンをクリックし、以下のプリンタグループ一覧出力先指定画面でファイルの出力先を指定して、「保存」ボタンをクリックしてください。

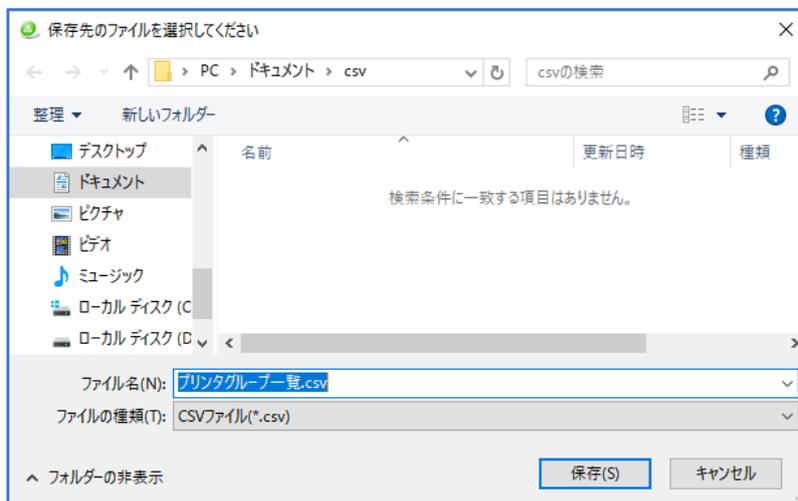


図 3-17 プリンタグループ一覧出力先指定画面

### 注意

- 保存したファイルには、全プリンタグループを出力します。任意のプリンタグループのみの出力は行えません。

## 3.2.6 プリンタの追加

プリンタの「追加」ボタンをクリックすると、以下のプリンタ追加画面を表示します。「表 3-11 プリンタ項目」の内容に従って設定し、「追加」ボタンをクリックしてください。

- 顔認証の場合、以下の項目の設定が必須条件となります。

表 3-10 顔認証時の複合機の登録に必要な項目

項目	設定内容
プリンタ ID	一意な ID を入力します。
プリンタ名	複合機の名称を入力します。
プリンタ IP アドレス	複合機の IP アドレスを入力します。
デバイスの種類	「顔認証デバイス」を指定します。
デバイス IP アドレス	NW カメラの IP アドレスを入力します。
認証方式	「Fuji Xerox プラグインログイン」を指定します。

図 3-18 プリンタ追加画面

プリンタの追加が完了すると、追加画面を再表示します。連続して入力しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

表 3-11 プリンタ項目(1/2)

項目	内容								
プリンタ ID	全プリンタで一意的な ID を 32 文字以内の全角・半角文字（※1）で指定します。								
プリンタ名	プリンタ名を 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。								
プリンタ IP アドレス	プリンタ IP アドレスを 15 文字以内の半角文字（カナ除く）で IP アドレスの形式で指定します。								
設置場所	設置場所を 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。								
コメント	コメントを 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。								
ポート名	ポート名を 128 文字以内の全角・半角文字で指定します。								
デバイスの種類	認証デバイスの種類について、以下の選択肢から指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードリーダーデバイス</li> <li>・パネル連携デバイス</li> <li>・顔認証デバイス</li> </ul>								
デバイス IP アドレス （端末 ID）	デバイス IP アドレスは、認証デバイス IP アドレスを 15 文字以内の半角文字（カナ除く）で IP アドレスの形式で指定します。 カードリーダーデバイスを DHCP で利用する場合、本項目は「端末 ID」と表示します。端末 ID は、128 文字以内の全角・半角文字で指定しません。								
動作環境設定	デバイスの種類を顔認証デバイスに選択した場合に、表示されます。顔認証を行う際の、認証デバイスから受信する画像に対して顔検出/顔照合のパラメーターを設定します。								
認証方式	選択したデバイスの種類によって、選択可能な認証方式が異なります。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">デバイスの種類</th> <th style="width: 50%;">認証方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カードリーダーデバイス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証印刷</li> <li>・パネル外部ログイン</li> <li>・Fuji Xerox プラグインログイン</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>パネル連携デバイス</td> <td>認証印刷</td> </tr> <tr> <td>顔認証デバイス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証印刷</li> <li>・パネル外部ログイン</li> <li>・Fuji Xerox プラグインログイン</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※Fuji Xerox プラグインログインを選択してください。</p>	デバイスの種類	認証方式	カードリーダーデバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証印刷</li> <li>・パネル外部ログイン</li> <li>・Fuji Xerox プラグインログイン</li> </ul>	パネル連携デバイス	認証印刷	顔認証デバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証印刷</li> <li>・パネル外部ログイン</li> <li>・Fuji Xerox プラグインログイン</li> </ul>
デバイスの種類	認証方式								
カードリーダーデバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証印刷</li> <li>・パネル外部ログイン</li> <li>・Fuji Xerox プラグインログイン</li> </ul>								
パネル連携デバイス	認証印刷								
顔認証デバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証印刷</li> <li>・パネル外部ログイン</li> <li>・Fuji Xerox プラグインログイン</li> </ul>								
認証サーバ IP アドレス	認証サーバ IP アドレスを 15 文字以内の半角文字（カナ除く）で IP アドレスの形式で指定します。選択された認証方式によって入力可能になります。ただし、本バージョンでは設定できません。								
ここからプリント	ここからプリントにおける「ログだけモード」について、有効/無効を指定します。								
どこでもプリント	どこでもプリントについて有効/無効を指定します。								
メーカードライバの印刷設定を使用する	どこでもプリントの印刷において、メーカーの SDK を利用して印刷設定を行うか否かを指定します。 ※本設定が無効な場合、どこでもプリントを利用される際に、プリンタサーバに Nup ドライバを作成する必要があります。 ※Nup ドライバの作成については、「プリンタ NUP 設定ツール」を利用してください。								
パネル連携時に有効な印刷種別	パネル連携時に、複合機のパネルに表示する印刷種別です。有効な印刷種別については、以下の選択肢から指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべて</li> <li>・ここからプリント</li> <li>・どこでもプリント</li> </ul>								

(続く)

表 3-11 プリンタ項目(2/2)

項目	内容	
所属するプリンタグループ	プリンタが所属するプリンタグループです。 所属するプリンタグループ一覧では、以下のコマンドボタンが使用できません。	
	一覧へ追加	プリンタの所属するプリンタグループを追加します。
	一覧から削除	プリンタの所属するプリンタグループを削除します。
利用状況	プリンタ利用状況について、以下の選択肢から指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用中</li> <li>・利用停止</li> </ul>	

※ 赤字が入力必須項目です。

※1 プリンタ ID の先頭に「'」（シングルクォーテーション）、「#」（シャープ）を指定できません。

#### 注意

- 本システムは、プリンタ名から物理的なプリンタを検索するため、どこでもプリントで使用する場合のプリンタ名は、プリンタサーバにインストールしたプリンタドライバのプリンタ名を登録してください。

## 3.2.7 プリンタの更新

プリンタリストから、更新対象のプリンタを選択して「更新」ボタンをクリックすると、以下のプリンタ更新画面を表示します。「表 3-11 プリンタ項目」に従って設定し、「更新」ボタンをクリックしてください。

プリンタ更新

プリンタ情報(X)

プリンタID(I): nishi\_sales01

プリンタ名(A): 西日本営業部1号機

プリンタIPアドレス(B): 192.168.0.10

設置場所(S):

コメント(O):

ポート名(P):

認証デバイス情報(E)

デバイスの種類(C): 簡易認証デバイス

デバイスIPアドレス(D): 192.168.0.11 動作環境設定

認証方式(Y): Fuji Xeroxプラグインログイン

認証サーバIPアドレス(M):

ここからプリント(H) パネル連携時に有効な印刷種別(K)

ログだけモード  すべて

どこでもプリント(E)  ここからプリント

有効  メーカードライバの印刷設定を使用する  どこでもプリント

無効

所属するプリンタグループ(G)

プリンタグループID	プリンタグループ名
0001	プリンタグループ

利用状況(J)

利用中  利用停止

図 3-19 プリンタ更新画面

## 3.2.8 プリンタの削除

プリンタリストから、削除対象のプリンタを選択して「削除」ボタンをクリックすると、以下のプリンタ削除確認画面を表示します。「削除」ボタンをクリックすると、プリンタ情報が削除されます。

プリンタ削除確認

プリンタ情報(X)

プリンタID(I): nishi\_sales01

プリンタ名(A): 西日本営業部1号機

プリンタIPアドレス(E): 192.168.0.10

設置場所(S):

コメント(O):

ポート名(P):

認証デバイス情報(E)

デバイスの種類(C): 認証デバイス

デバイスIPアドレス(D): 192.168.0.11 動作環境設定

認証方式(Y): Fuji Xeroxプラグインログイン

認証サーバIPアドレス(M):

ここからプリント(H) パネル連携時に有効な印刷種別(K)

ログだけモード  すべて

どこでもプリント(E)  ここからプリント

有効  メーカードライバの印刷設定を使用する  どこでもプリント

無効

所属するプリンタグループ(G)

プリンタグループID	プリンタグループ名
0001	プリンタグループ

利用状況(J)

利用中  利用停止

削除(D) キャンセル

図 3-20 プリンタ削除確認画面

### ヒント

- プリンタリストにおいて、複数のプリンタを選択して削除することもできます。複数のプリンタを削除する場合は、「Ctrl」を押しながら削除対象のプリンタを選択し（すべての場合は「Ctrl+A」）、「削除」ボタンをクリックしてください。

## 3.2.9 プリンタのグループ移動

プリンタ管理画面のプリンタリストから、移動対象のプリンタを選択して右クリックし、「他のグループへ移動」を選択すると、以下のプリンタグループ情報一覧画面を表示します。移動先のグループを選択し、「選択」ボタンをクリックしてください。

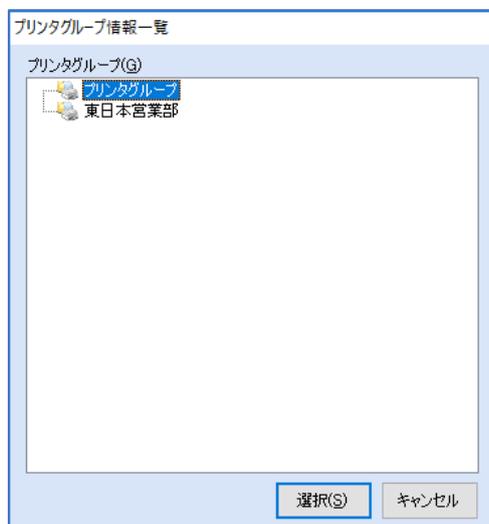


図 3-21 プリンタグループ情報一覧画面

プリンタのグループ移動は、メニューバー、右クリックメニューから実行可能です。

### ヒント

- プリンタリストにおいて、複数のプリンタを選択して他のグループへ移動することができます。複数のプリンタを移動する場合は、「Ctrl」を押しながら移動対象のプリンタを選択し（すべての場合は「Ctrl+A」）、右クリックメニューの「他のグループへ移動」メニューをクリックしてください。
- 複数プリンタを選択して、移動できる最大プリンタ数は10台までです。

### 注意

- 「プリンタ検索結果」に表示するプリンター一覧のプリンタに対しては、本機能が行えません。

## 3.2.10 プリンタの一覧出力

プリンタ管理画面でリスト表示されているプリンタ情報は、CSVファイルに出力することができます。

- 1) プリンタ部の「一覧出力」ボタンをクリックすると、以下のプリンター一覧出力画面を表示します。ここで、本システムに登録されているすべてのプリンタ、もしくはプリンタグループを指定して、「出力」ボタンをクリックしてください。

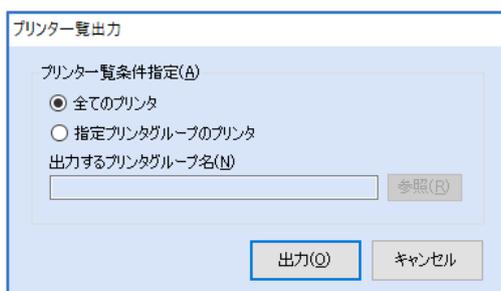


図 3-22 プリンター一覧出力画面

- 2) 出力ボタンをクリックすると、次にプリンター一覧出力先指定画面を表示します。ファイルの保存先を指定して、「保存」ボタンをクリックしてください。指定されたプリンタ情報が出力されます。

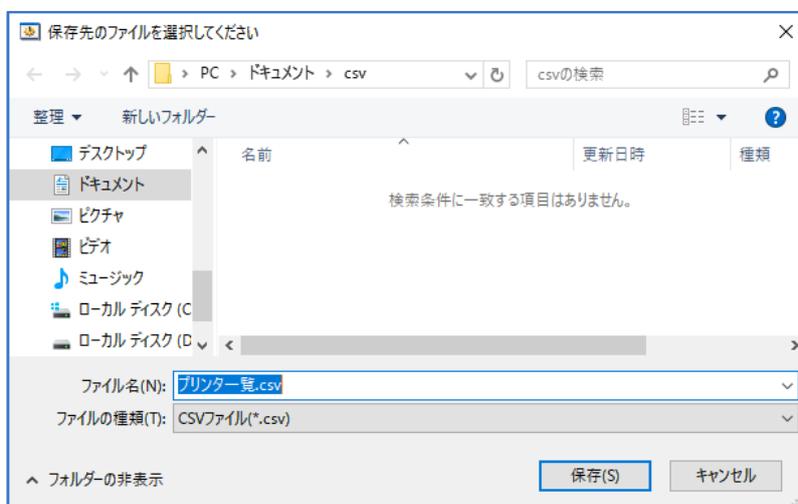


図 3-23 プリンター一覧出力先指定画面

### 注意

- デバイスの種類が「顔認証デバイス」設定になっているプリンタは、デバイスの種類が「カードリーダーデバイス」と出力されます。
- 認証方式、認証サーバIPアドレスは、プリンター一覧出力では出力されません。本機能で出力したファイルをプリンタの一括登録で登録した場合は、認証方式、および、認証サーバのIPアドレスを再設定してください。

### 3.2.11 プリンタの検索

たくさんのプリンタ情報が表示されているプリンタ管理画面から、該当のプリンタを選択することは手間であり、時間がかかります。この不便さを解消するために、本システムではプリンタ検索を設けています。

プリンタ管理画面の「検索」ボタンをクリックすると、以下のプリンタ検索画面を表示します。プリンタ検索画面で「表 3-11 プリンタ項目」に従って検索条件を指定し、「検索」ボタンをクリックすると、検索条件に一致するプリンタがリスト表示されます。プリンタリストから該当のプリンタを選択することで、目的のプリンタにすばやくたどり着くことができます。

図 3-24 プリンタ検索画面

#### 注意

- 検索条件を何も指定しないまま検索実行すると、検索時間が長くなり、すべてのプリンタがリストに表示されるため、リソースを圧迫します。条件を絞り込んで検索することを推奨します。
- 各検索条件項目間は、“AND（かつ）”、“OR（または）”の指定ができます。
- プリンタグループ名、プリンタID、プリンタ名、プリンタIPアドレス、設置場所、コメント、ポート名、デバイスIPアドレス/端末IDは部分一致で検索します。
- デバイスIPアドレス/端末IDは、デバイスIPアドレスまたは端末IDのどちらでも検索することができます。
- リスト表示されたプリンタを選択し、「選択」ボタンをクリック、あるいは、ダブルクリックすると、プリンタ管理画面に戻り、該当のプリンタに位置づきます。
- ここで表示されたプリンタリストは、プリンタ管理画面のプリンタグループ”検索結果”にも表示されます。
- ◀ ボタンをクリックすると、検索条件が隠れプリンタ情報が全面に表示されます。検索条件を再表示するには、▶ ボタンをクリックします。

## 3.3. 一括登録

一括登録では、本システムで使用するデータをCSVファイルから一括で登録することができます。

### 3.3.1. 一括登録画面

管理メニューから「管理」を選択し、「一括登録」タブへ移動すると、一括登録画面が表示されます。一括登録の機能については、以下の「表 3-12 一括登録機能一覧表」をご参照ください。



図 3-25 一括登録画面

一括登録画面は、左側に読み込むCSVファイルの情報、および、読み込んだデータを登録する際の動作を指定します。また、左側には、読み込んだ登録データを表示します。

#### 注意

- 「図 3-25 一括登録画面」はそこからプリントが有効の場合の画面です。そこからプリントが無効の場合は、「そこからプリントグループ」、「そこからプリントのプリンタ」を表示しません。また、「そこからプリントグループ」、「そこからプリントのプリンタ」を登録する前に、あらかじめ、プリンタグループ、プリンタを登録しておく必要があります。
- 一括登録画面では、1万件以上のデータを取り込むのに、時間を要します。1万件以上のような大量のデータを取り込む場合は、サーババッチ登録ツールの利用を推奨します。

- 顔認証を利用する環境での未サポート機能について以下に記します。
  - 1) ユーザ顔画像の一括登録  
サーバ管理ツールの一括登録機能において、ユーザの一括登録は、顔画像登録をサポートしません。一括登録実施後、ユーザ顔画像の登録を行いたい場合は、ユーザ管理の個々のユーザのユーザ追加、あるいは、ユーザ更新画面から再度登録をしてください。
  - 2) プリンタに紐づけられる顔認証デバイスの一括登録  
プリンタの一括登録実施後、「顔認証デバイス」で登録したプリンタは一括登録画面には「カードリーダーデバイス」として表示されます。  
顔認証デバイスの登録は、プリンタ管理の該当プリンタのプリンタ追加、あるいは、プリンタ更新画面で「デバイスの種類」を「顔認証デバイス」に選択してください。
  - 3) サーババッチ登録ツールで、顔画像登録済みユーザを削除した場合  
サーババッチ登録ツールの削除バッチ機能において、ユーザの削除は、顔画像機能をサポートしません。よって、削除バッチ機能にて削除したユーザと、同一のユーザIDを持ったユーザを、ユーザ管理画面にて新規追加しないことを推奨します。

表 3-12 一括登録機能一覧表

項目		説明
登録種別	カード	カードデータの登録を行います。
	ユーザグループ	ユーザグループデータの登録を行います。
	ユーザ	ユーザデータの登録を行います。 「アクセスキーを常に更新する」がチェック On の場合は、CSV ファイルから読み取ったアクセスキーでデータを更新します。チェック Off の場合は、アクセスキーの更新は行いません。
	プリンタグループ	プリンタグループデータの登録を行います。
	プリンタ	プリンタデータの登録を行います。
	そこからプリントグループ	そこからプリントのグループの登録を行います。 ※そこからプリント有効時のみ表示します。
	そこからプリントのプリンタ	そこからプリントのプリンタの登録を行います。 ※そこからプリント有効時のみ表示します。
	取り込み CSV ファイル	登録対象の CSV ファイルを指定して、読み込み処理を行います。読み込んだ CSV データは、登録データ領域に表示します。
反映方法	新規登録のみ	指定した CSV ファイルから、登録されていないデータのみを新規に登録します。
	既存更新のみ	指定した CSV ファイルから、登録済みデータのみを更新対象にして登録します。
	すべてを反映	指定した CSV ファイルから、登録されていないデータに対しては新規登録、登録済みデータに対しては更新登録を行います。
ファイルをチェックする	チェック On の場合は、事前チェックでデータフォーマット、およびデータの整合性をチェックします。チェックが Off の場合は、事前チェックは行われず、処理速度が向上します。	
登録エラー時の動作	処理を中断する	登録処理中になんらかのエラーが起きた場合は、エラー発生箇所で登録処理を中断します。
	無視して続行する	登録処理中になんらかのエラーが起きた場合は、エラー発生箇所を読み飛ばして登録処理を続行します。

### 3.3.2. 事前チェック

CSVファイルから読み込んだ登録データは、登録データ領域に表示します。ここで、「ファイルをチェック」チェックボックスをOnにした状態で「事前チェック」ボタンをクリックすると、登録方法に従った事前チェック処理を行います。

事前チェック処理の結果は、各登録データ行の文字色で表されます。

表 3-13 CSV データ事前チェック結果のリスト文字色

文字色	判定	説明
黒	○	登録方法に対して正常なデータであり、取り込みが可能です。
青	×	登録方法で「差分のみ登録」を指定した場合、重複するデータ（登録済みデータ）であることを表します。但し、登録対象とならないため、除外は不要です。
赤	×	登録方法に対してエラーとなるデータであり、取り込みができません。なお、該当データは、登録対象から除外しないと、「登録開始」ボタンが有効となりません。

以下に登録方法ごとに事前チェックのエラー要因を記します。エラー時には、以下と照らし合わせて、登録データを確認し、修正してください。

表 3-14 カード CSV の事前チェック表

項目	存在チェック			
	二重定義	差分登録	既存更新	すべて反映
カード ID	×	既に存在する	存在しない	○
カード番号	×	既に他で使用	既に他で使用	既に他で使用
カード説明	—	—	—	—
有効期限	—	—	—	—
利用状況	—	—	—	—
カード区分	—	—	既にユーザに紐づけされている	既にユーザに紐づけられている
ユーザグループ ID	—	存在しない	既にユーザに紐づけされているか、存在しない	既にユーザに紐づけされている

表 3-15 ユーザグループ CSV の事前チェック表

項目	存在チェック			
	共通（二重定義）	差分登録	既存更新	すべて反映
ユーザグループ ID	×	既に存在する	存在しない	○
ユーザグループ名	—	—	—	—
親ユーザグループ ID	ユーザグループ ID と重複	存在しない	存在しない	存在しない

表 3-16 ユーザ CSV の事前チェック表

項目	存在チェック			
	共通（二重定義）	差分登録	既存更新	すべて反映
ユーザグループ ID	—	存在しない	存在しない	存在しない
ユーザ ID	×	既に存在する	存在しない	○
アクセスキー	—	—	—	—
ユーザ名	—	—	—	—
フリガナ	—	—	—	—
メールアドレス	—	—	—	—
所在地	—	—	—	—
カード ID	×	既に他で使用か、 存在しない	既に他で使用か、 存在しない	既に他で使用か、 存在しない

表 3-17 プリンタグループ CSV の事前チェック表

項目	存在チェック			
	共通（二重定義）	差分登録	既存更新	すべて反映
プリンタグループ ID	×	既に存在する	存在しない	○
プリンタグループ名	—	—	—	—
関連種別	—	—	—	—
利用ユーザグループ ID、またはユーザ ID	—	存在しない	存在しない	存在しない

表 3-18 プリンタ CSV の事前チェック表

項目	存在チェック			
	共通（二重定義）	差分登録	既存更新	すべて反映
プリンタグループ ID	—	存在しない	存在しない	存在しない
プリンタ ID	×	既に存在する	存在しない	○
プリンタ名	—	—	—	—
プリンタ IP アドレス	×	既に他で使用	既に他で使用	既に他で使用
認証デバイス IP アドレス	×	既に他で使用	既に他で使用	既に他で使用
設置場所	—	—	—	—
コメント	—	—	—	—
ポート名	×	既に他で使用	既に他で使用	既に他で使用
利用状況	—	—	—	—
認証デバイス有無	—	—	—	—
印刷種別	—	—	—	—
メーカードライバの印刷設定	—	—	—	—

表 3-19 そこからプリントのグループ CSV の事前チェック表

項目	存在チェック			
	共通（二重定義）	差分登録	既存更新	すべて反映
そこからプリントグループ ID	×	既に存在する	存在しない	○
そこからプリントグループ名	—	—	—	—
メーカー名	—	—	—	—

表 3-20 そこからプリントのプリンタ CSV の事前チェック表

項目	存在チェック			
	共通（二重定義）	差分登録	既存更新	すべて反映
そこからプリントグループ ID	—	存在しない	存在しない	存在しない
そこからプリントグループ名	—	—	—	—
そこからプリントのプリンタ ID	—	存在しない	存在しない	存在しない
そこからプリントのプリンタ名	—	—	—	—
そこからプリントの関連付け	×	既に存在する	存在しない	○

### 3.3.3. 一括登録の操作手順

登録種別「ユーザ」を例に、一括登録の操作手順を以下に記します。

- 1) 画面左上段の「登録種別」から、一括登録を実施する種別を選択します。

アクセスキーデータが CSV ファイルに存在し、そのデータでアクセスキー情報を作成、あるいは、更新する場合は、「アクセスキーを常に更新する」チェックボックスを On に設定します。

図 3-26 CSV ファイル指定画面

- 2) 読み込み CSV ファイルの「参照」ボタンをクリックし、CSV ファイル指定画面を表示します。ここで、読み込み対象の CSV ファイルを指定して、「開く」ボタンをクリックします。

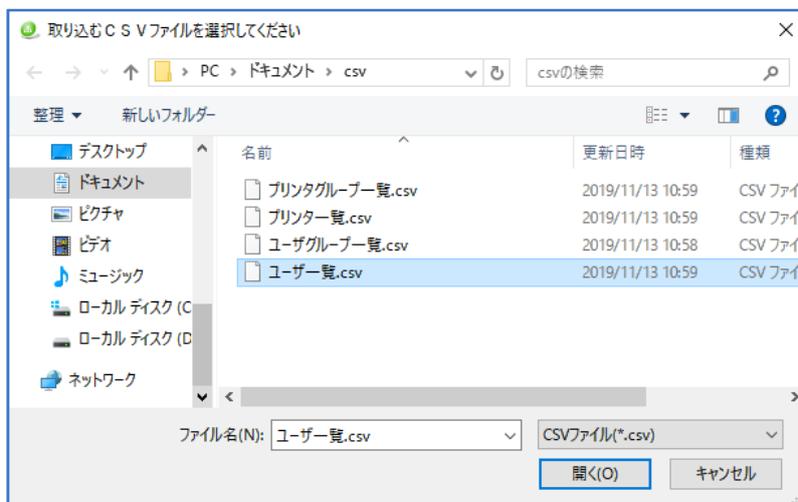


図 3-27 CSV ファイル指定画面

- 3) CSV ファイル読み込みに成功すると、登録データに一覧表示されます。

ユーザグループID	ユーザID	アクセスキー
UG_20170602114933100000000	administrator	abcd1234
UG_20170605101329100000002	sales_admin	abcd1234
UG_20170605101355100000005	b-eigyō	abcd1234
UG_20170605101355100000005	h-sesame	
UG_20170605101355100000005	SESAME	sesame
UG_20170605101355100000005	t-sesame	
UG_20170605101416100000006	j-nishi	
UG_20170605101416100000006	s-oosaka	
UG_20170605101708100000013	CEC	cec
UG_20170605101708100000013	sps	sps

図 3-28 CSV ファイル読み込み結果リスト

### ヒント

- ◀ ボタンをクリックすると、登録設定が隠れ登録データが全面に表示されます。登録設定を再表示するには、▶ ボタンをクリックします。
- 4) 画面左中段の「登録方法」を指定して「事前チェック」ボタンをクリックします。

反映方法(G)

新規登録のみ

既存更新のみ

すべてを反映

---

事前チェック(C)

事前チェック(H)  ファイルをチェックする

図 3-29 CSV ファイル内容事前チェック状況画面

- 5) 以下のダイアログボックスが表示し、事前チェックが実施されます。

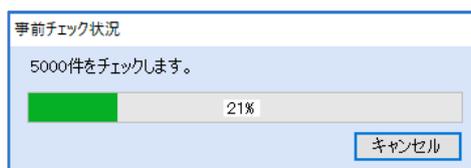


図 3-30 CSV ファイル内容事前チェック状況ダイアログボックス

- 6) 事前チェックが終了し、読み込んだ登録データにエラーが存在する場合は、以下のメッセージダイアログボックスを表示します。

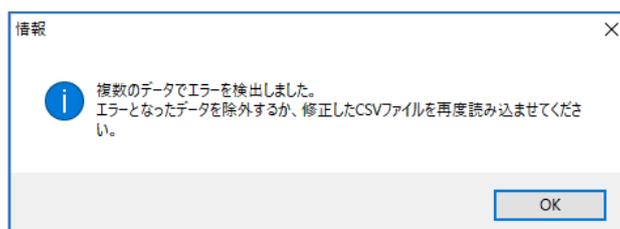


図 3-31 事前チェック完了ダイアログボックス

- 7) 登録データを確認し、CSV ファイルのデータを修正する、もしくは、エラーとなった該当行を選択して登録対象から除外してください。その後、再度上記 2) または 4) から実施してください。

ユーザグループID	ユーザID	アクセスキー
UG_20170602114933100000000	administrator	abcd1234
UG_20170605101329100000002	sales_admin	abcd1234
UG_20170605101355100000005	b-eigyo	abcd1234
UG_20170605101355100000005	h-sesame	
UG_20170605101355100000005	SESAME	sesame
UG_20170605101355100000005	t-sesame	
UG_20170605101416100000006	j-nishi	
UG_20170605101416100000006	s-oosaka	
UG_20170605101708100000013	CEC	cec
UG_20170605101708100000013	sps	sps
UG_20170605101708100000014	svs	svs
UG_20170605101708100000013	s-tokyo	
UG_20170605101708100000013	s-fukuoka	
UG_20170605101708100000013	j-nagoya	

図 3-32 事前チェック完了画面

- 8) 事前チェックが終了し、読み込んだデータに問題がないことが確認されると、以下のメッセージダイアログボックスを表示します。

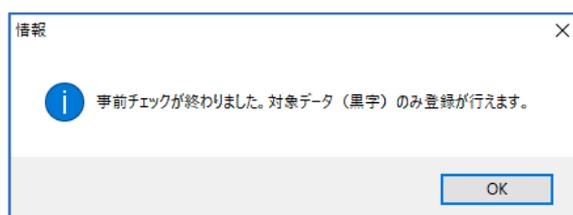


図 3-33 事前チェック完了ダイアログボックス

- 9) 画面左下段の「エラー時の動作」を指定してください。

登録エラー時の動作(0)
<input type="radio"/> 処理を中断する
<input checked="" type="radio"/> 無視して続行する

図 3-34 一括登録画面（事前チェック完了）

- 10) 「登録開始」ボタンをクリックすると、確認を促すメッセージダイアログボックスが表示されます。ここで、「はい」ボタンをクリックすると、一括登録処理を開始します。

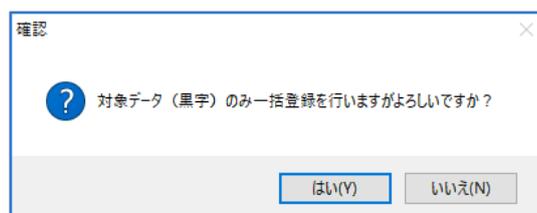


図 3-35 一括登録確認ダイアログボックス

11) 一括登録が完了すると、登録結果画面に遷移し、登録結果がリスト表示されます。

ユーザグループID	ユーザID	カードID	結果
UG_2017060211493310000000	administrator		登録が成功しました。
UG_2017060510132910000002	sales_admin		登録が成功しました。
UG_2017060510135510000005	b-eigyō	sesame-000003	登録が成功しました。
UG_2017060510135510000005	h-sesame	sesame-000002	登録が成功しました。
UG_2017060510135510000005	SESAME		登録が成功しました。
UG_2017060510135510000005	t-sesame		登録が成功しました。
UG_2017060510141610000006	j-nishi	sesame-010001	登録が成功しました。
UG_2017060510141610000006	s-oosaka	sesame-010002	登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	CEC		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	sps		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	s-tokyo		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	s-fukuoka		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	k-nagoya		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	k-kobe		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	ch-fukuoka		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	ch-tokyo		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	y-kobe		登録が成功しました。
UG_2017060510170810000013	h-kyoto		登録が成功しました。

図 3-36 一括登録結果画面

12) 以上で、一連の一括登録が完了しました。他にも一括登録が必要な場合は、登録種別を変更して、上記の操作を繰り返し実行してください。

#### 注意

- ユーザ情報の一括登録において、登録方法に「差分のみ登録」を指定して新規登録を実行した場合には、登録したユーザの権限区分はすべて「一般ユーザ」として登録します。

## 4. バックアップとリカバリー

### 4.1 顔認証サーバーのバックアップ

本顔認証サーバーのバックアップは、OSのバックアップと、データベースのバックアップがあります。

#### 4.1.1 OSのバックアップ

CドライブとDドライブの工場出荷イメージは、顔認証サーバーに同梱されている「顔認証サーバー工場出荷イメージ」に保存されています。日々蓄積されるデータが含まれません。お客様がOSのバックアップを実施する際は、上記「顔認証サーバー工場出荷イメージ」以外の場所を指定してください(例：「Dドライブ」など)。

#### 4.1.2 データベースのバックアップ

データベースのバックアップについては、データベースにある情報(ユーザ、ユーザの顔情報、プリンタ)は、タスクスケジューラの設定によって、毎日自動的にバックアップされます。バックアップされるファイルは、顔認証サーバーの指定フォルダに作成されます。

表 4-1 データベースのバックアップ

項目	内容
自動バックアップ実行時刻	毎日4時
バックアップファイルの格納先	D:\¥SESAME¥DBbackup
バックアップファイル名	SESAME-SPEDB.bak

#### 注意

- データベースバックアップファイルは定期的に外部媒体へのバックアップ(コピー)を推奨します。
- バックアップが正常に動作しているかどうか、上記指定フォルダ配下にあるバックアップファイルの日付を確認してください。
- データベースファイルを含む顔認証サーバー上のすべてのデータは、お客様自らの責任と判断でバックアップしてください。弊社はデータのバックアップを取るなどの義務を一切負いません。
- データベースバックアップによりデータベースの復元は可能です。データベースバックアップ処理は、本章に記載された時刻より行われ、次にデータベースバックアップ処理が行われるまでに変更された内容は、データベースバックアップファイルには反映されません。
- データベースの自動バックアップ以外に、手動でデータベースのバックアップを実施したい場合、運用に影響しない時間帯で実施してください。
- サーバ管理ツールの一括出力で作成した CSV ファイルを、当顔認証サーバーのバックアップファイルとして、利用しないでください。

## ヒント

- 手動でデータベースのバックアップを実施したい場合は、タスクスケジューラにて以下のように設定変更を行ってください。

表 4-2 手動でデータベースをバックアップする手順

画面と説明	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「Windowsロゴキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「タスク スケジューラ」を入力し、クリックすると、タスクスケジューラが表示されます。</li> <li>● 「タスクスケジューラ ライブラリ」配下にある「SmartSESAME」を選択し、表示される一覧から「DBバックアップ」を選択し、右クリックメニューより「実行する」メニューを選択すると、データベースのバックアップが即時に実行されます。</li> </ul>

- データベースのバックアップ実施時刻を変更したい場合は、タスクスケジューラにて、以下のよう設定変更を行ってください。

表 4-3 データベースのバックアップ実施時刻を変更する手順

画面と説明		
(1)		<p>タスクスケジューラを開き、「SmartSESAME」を選択し、表示される「DBバックアップ」を選択し、右クリックメニューより「プロパティ」を選択します。</p>
(2)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示される「DBバックアップのプロパティ」画面で、「トリガー」タブを選択し、「毎日」のトリガーを選択した上で、「編集」をクリックします。</li> <li>● 開始時刻を設定した上で、「OK」ボタンを選択し、保存してください。</li> </ul>

## 4.2 顔認証サーバーのリカバリーの実施方法

本章では、顔認証サーバーのOSのリストア方法と、データベースのリストア方法について、説明します。必要に応じて、以下の手順に従い、操作を行ってください。

### 4.2.1. OS のリストア

#### 注意

- 顔認証サーバーを操作できるように、事前にディスプレイ、キーボード、マウスを用意し、顔認証サーバーと接続している状態に準備してください。
- 本節の操作によって、D ドライブにあるデータベースバックアップファイルが消えることがありますので、事前に外部媒体へバックアップしてください。

表 4-4 OS のリストア手順(1/3)

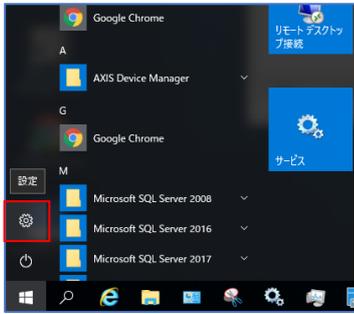
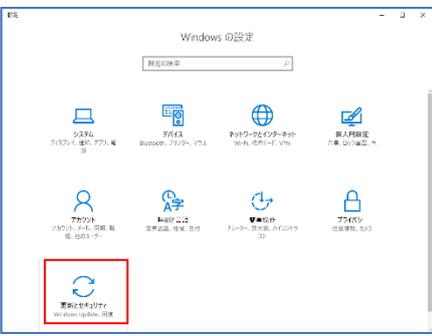
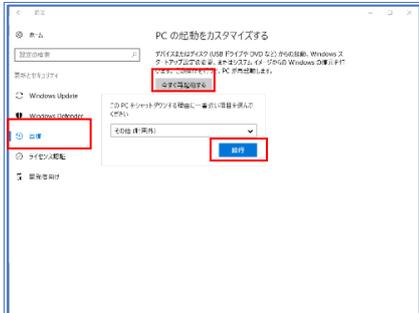
	画面と説明
(1)	 <p>顔認証サーバーの電源を投入し、起動後、「Windows」キーを押下し、左図の「設定」を選択します。</p>
(2)	 <p>左図の赤枠にある「更新とセキュリティ」を選択します。</p>
(3)	 <p>左図の赤枠にある「回復」を選択し、「今すぐ再起動する」を選択します。表示される確認ダイアログ画面で「続行」を選択します。</p>

表 4-4 OS のリストアップ手順(2/3)

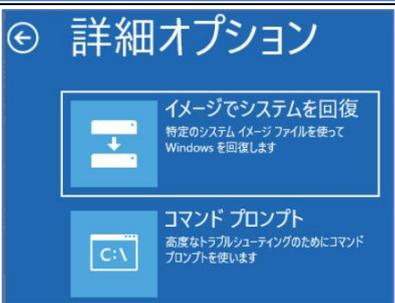
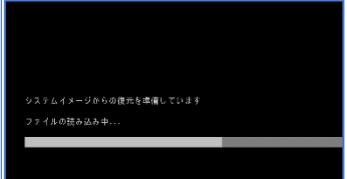
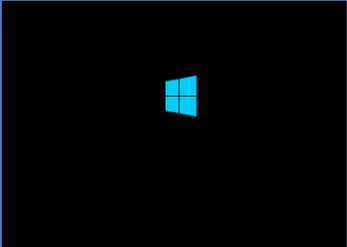
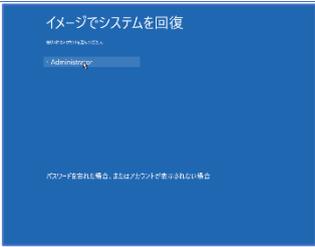
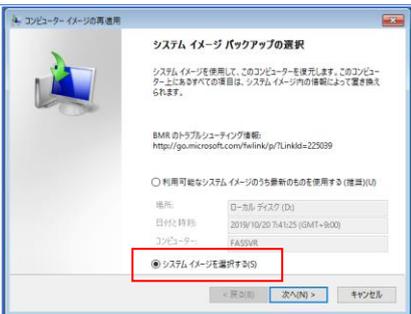
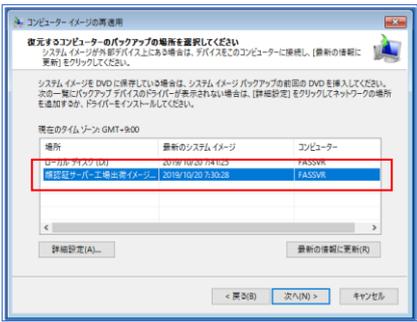
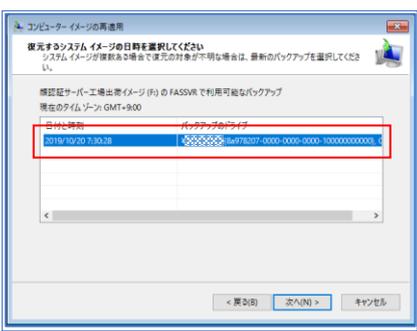
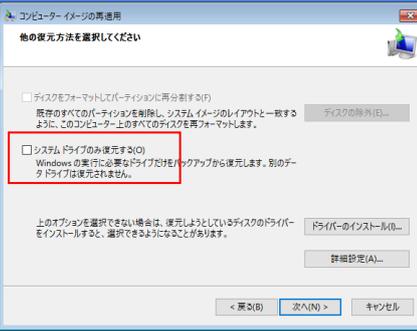
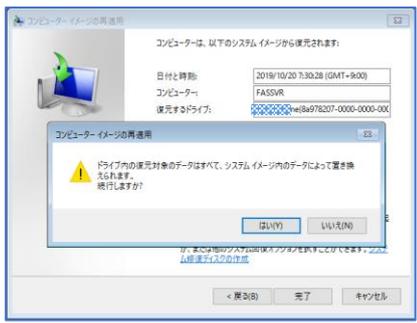
	画面と説明	画面と説明
(4)		表示される「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」を選択します。
(5)		表示される「詳細オプション」画面では、「イメージでシステムを回復」を選択します。
(6)		左図のように、「システムイメージからの復元を準備しています」と表示され、しばらくお待ちください。
(7)		しばらく待つと、左図のようにWindows画面が立ち上がります。
(8)		左図の「Administrator」アカウントを選択します。 ※パスワードとして、「fassvr@11」を入力してください。
(9)		表示される「コンピューターイメージの再適用」画面では、「システムイメージを選択する」を選択し、「次へ」ボタンを押下します。

表 4-4 OS のリストア手順(3/3)

	画面と説明	画面と説明
(10)		<p>復元するコンピューターのバックアップの場所として、表示される「顔認証サーバー工場出荷イメージ」を選択し、「次へ」ボタンを押下します。</p>
(11)		<p>該当の日時を選択し、「次へ」を押下します。</p>
(12)		<p>左図の「システムドライブのみ復元する」を選択しないで、「次へ」ボタンを選択し復元を実行した場合、Dドライブも工場出荷状態に初期化され、データベースバックアップファイルも消去されます。ご注意ください。</p> <p>※システムドライブ（Cドライブ）のみ復元する場合は、必ず左図の「システムドライブのみ復元する」を選択し、「次へ」ボタンを押下してください。</p>
(13)		<p>「完了」ボタンを押下後、左図のような確認画面が表示され、「はい」を選択します。</p> <p>復元が完了するまで、しばらくお待ちください。</p> <p>復元完了後、顔認証サーバーを再起動してください。</p> <p>※復元後、顔認証サーバーは出荷初期状態に戻りますので、「1. 顔認証サーバーの設定」を参照し、顔認証サーバーを設定してください。</p>

## 4.2.2. 管理サーバサービスの停止

以降、「4.2.7 アプリケーションサーバサービスの開始」までは、データベースのリストアで実施する必要のある内容です。データベースのリストアを実施する場合、以下の手順に従い、操作を行ってください。

- 1) 顔認証サーバーへ、管理者権限を持つアカウントでログインします。
- 2) 「表 4-5 管理サーバメンテナンス開始の実行方法」を参照し、「管理サーバメンテナンス開始」を実行します。

表 4-5 管理サーバメンテナンス開始の実行方法

OS バージョン	実行方法
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Windows ログキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「管理サーバメンテナンス開始」を入力し、右クリックします。</li> <li>• 「ファイルの場所を開く」をクリックします。</li> <li>• 開かれたフォルダで、「管理サーバメンテナンス開始」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。</li> <li>• ユーザー アカウント制御画面で「はい」をクリックします。</li> </ul>

- 3) 「メンテナンス開始」を実行すると、「図 4-1 「メンテナンス開始」実行画面」が表示され、管理サーバサービスが停止されます。

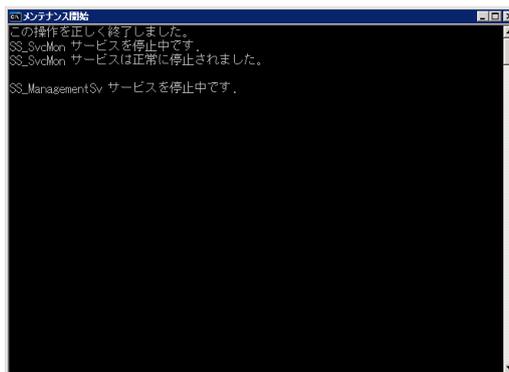


図 4-1 「メンテナンス開始」実行画面

### 4.2.3. アプリケーションサーバサービスの停止

- 1) 顔認証サーバーへ、管理者権限を持つアカウントでログインします。
- 2) 「表 4-6 アプリケーションサーバメンテナンス開始の実行方法」を参照し、「アプリケーションサーバメンテナンス開始」を実行します。

表 4-6 アプリケーションサーバメンテナンス開始の実行方法

OSバージョン	実行
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Windows ロゴキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「アプリケーションサーバメンテナンス開始」を入力し、右クリックします。</li> <li>• 「ファイルの場所を開く」をクリックします。</li> <li>• 開かれたフォルダで、「アプリケーションサーバメンテナンス開始」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。</li> <li>• ユーザー アカウント制御画面で「はい」をクリックします。</li> </ul>

- 3) 「メンテナンス開始」を実行すると、「図 4-2 「メンテナンス開始」実行画面」が表示され、アプリケーションサーバサービスが停止されます。

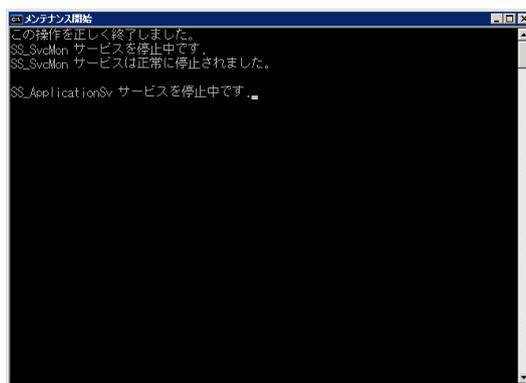


図 4-2 「メンテナンス開始」実行画面

- 4) 以上で、データベースリストア前の準備は完了です。

## 4.2.4. データベースのリストア

Microsoft SQL Server Management Studio を利用し、通常の SQL Server のリストア機能を利用します。

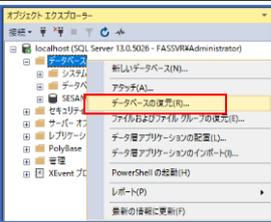
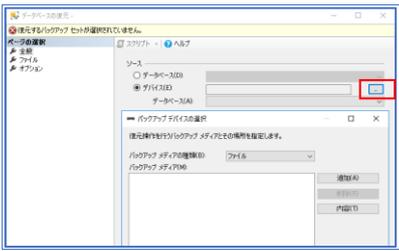
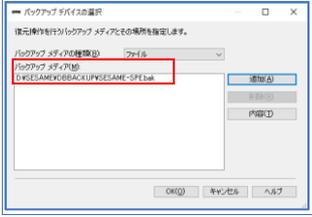
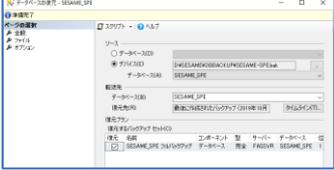
**注意**

- Microsoft SQL Server Management Studio にログインする際に、ログイン画面にある「認証」方法は「Windows 認証」を指定してください。ユーザー名はログインしている Windows アカウント(Administrator)を利用してください。

表 4-7 SQL Server Management Studio の起動方法

OS バージョン	起動方法
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Windows ロゴキー」+ 「Q」を押下し、[検索]ボックスに「SQL Server Management Studio」を入力し、クリックします。</li> </ul>

表 4-8 データベースのリストア手順

	画面と説明
(1)	 <p>「データベース」を選択し、右クリックメニューより「データベースの復元」を選択します。</p>
(2)	 <p>表示される「データベースの復元」画面から「オプション」を選択し、以下の設定を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「既存のデータベースを上書きする」をチェック(有効)</li> <li>• 「復元の前にログ末尾のバックアップを実行する」を外す(無効)</li> <li>• 「接続先への既存の接続を閉じる」をチェック(有効)</li> </ul>
(3)	 <p>「全般」タブを選択し、ソースから「デバイス」を選択した状態で、赤枠のところを選択すると、「バックアップデバイスの選択」画面が表示され、「追加」ボタンを押下します。</p>
(4)	 <p>バックアップしたファイルを選択すると、左図のように表示されます。「OK」ボタンを押下します。 ※バックアップファイルのデフォルトの保存場所は、「D:¥SESAME¥DBBACKUP」になります。</p>
(5)	 <p>左図のような画面が表示されます。「OK」を押下すると、データベースのリストア処理が実施されます。しばらく待つと、完了になります。</p>

## 4.2.5. ユーザ情報の再マッピング

- 1) 顔認証サーバーへ、管理者権限を持つアカウントでログインします。
- 2) 「表 4-9 ユーザ情報再マッピングの実行方法」を参照し、「ユーザ情報再マッピング」を実行します。

表 4-9 ユーザ情報再マッピングの実行方法

OS バージョン	実行方法
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Windows ログキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「ユーザ情報再マッピング」を入力し、右クリックします。</li> <li>• 「ファイルの場所を開く」をクリックします。</li> <li>• 開かれたフォルダで、「ユーザ情報再マッピング」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。</li> <li>• ユーザー アカウント制御画面で「はい」をクリックします。</li> </ul>

- 3) 当システムのデータベースで使用するユーザの再マッピング処理が実行されます。

## 4.2.6. 管理サーバサービスの開始

- 1) 顔認証サーバーへ、管理者権限を持つアカウントでログインします。
- 2) 「表 4-10 管理サーバメンテナンス終了の実行方法」を参照し、「管理サーバメンテナンス終了」のメンテナンス終了を実行します。

表 4-10 管理サーバメンテナンス終了の実行方法

OS バージョン	実行方法
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Windows ログキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「管理サーバメンテナンス終了」を入力し、右クリックします。</li> <li>• 「ファイルの場所を開く」をクリックします。</li> <li>• 開かれたフォルダで、「管理サーバメンテナンス終了」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。</li> <li>• ユーザー アカウント制御画面で「はい」をクリックします。</li> </ul>

- 3) 「メンテナンス終了」を実行すると、「図 4-3 「メンテナンス終了」実行画面」が表示され、管理サーバサービスが開始されます。



図 4-3 「メンテナンス終了」実行画面

## 4.2.7. アプリケーションサーバサービスの開始

- 1) 顔認証サーバーへ、管理者権限を持つアカウントでログインします。
- 2) 「表 4-11 アプリケーションサーバメンテナンス終了の実行方法」を参照し、「アプリケーションサーバメンテナンス終了」を実行します。

表 4-11 アプリケーションサーバメンテナンス終了の実行方法

OSバージョン	実行
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Windows ロゴキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「アプリケーションサーバメンテナンス終了」を入力し、右クリックします。</li> <li>• 「ファイルの場所を開く」をクリックします。</li> <li>• 開かれたフォルダで、「アプリケーションサーバメンテナンス終了」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。</li> <li>• ユーザー アカウント制御画面で「はい」をクリックします。</li> </ul>

- 3) 「メンテナンス終了」を実行すると、「図 4-4 「メンテナンス終了」実行画面」が表示され、アプリケーションサーバサービスが開始されます。



図 4-4 「メンテナンス終了」実行画面

- 4) 以上で、データベースのリストア作業は完了です。

## 4.3 NWカメラの出荷状態へ復元方法

NWカメラを出荷状態へ復元方法について、以下にて説明します。

表 4-12 NWカメラの出荷状態へ復元方法

	画面と説明	
(1)		<ul style="list-style-type: none"> <li>顔認証サーバーのデスクトップ上にある「AXIS Device Manager Client」ショットカットキーをダブルクリックします。</li> <li>出荷状態へ戻したいNWカメラを選択し、右クリックメニューより「バックアップ/復元」メニューを選択し、「以前の日時に復元」メニューを選択します。</li> </ul>
(2)		<p>表示される「復元する時間を選択」画面で、「初期キッティング状態」の復元ポイントを選択し、「次へ」ボタンを押下します。次の画面で「完了」ボタンを押下します。復元まで少々お待ちください。</p> <p>「AXIS Device Manager Client」画面では、該当のNWカメラのステータスが「OK」と表示されると、NWカメラの出荷状態への復元作業が完了になります。</p> <p>※NWカメラは出荷状態に戻りますので、「2. NWカメラの設定」を参照し、NWカメラの設定変更を行ってください。</p>

## 5. 注意制限事項

フェイスマスターに顔情報登録済みのユーザは、認証デバイスがNWカメラに設定してある複合機から顔認証することができます。NWカメラ対応顔認証での運用における注意事項・留意事項を以下に説明します。

### 5.1. NWカメラの設置場所と設置位置の注意事項・留意事項

フェイスマスター登録時の画像と顔認証時にNWカメラで撮影される顔画像について、撮影状況が大きく異なると、フェイスマスター登録時の画像とかけ離れ、ユーザの顔認証率は下がります。これは、NWカメラの設置場所、設置位置が重要な要因です。

以下にNWカメラの設置場所、および、設置位置について注意事項・留意事項を記します。

- 日光や照明器具などによって、一定方向から光が被写体に当たらない場所に設置してください。
- 被写体が離れすぎず、顔の輪郭がはっきり分かり、焦点があっている距離にNWカメラを設置してください。
- 利用者の顔が上向き、下向きにならないような場所に設置してください。

### 5.2. 顔認証時の注意事項・留意事項

顔認証時にNWカメラから受信したスナップショットは、フェイスマスターに登録した画像と比較して該当ユーザを特定します。以下にユーザ認証時における注意事項・留意事項を記します。

- 他人が映りこまないようにNWカメラ前に顔を向けてください。
- 笑う、にらむ等、普段と違う表情である場合、顔認証率は下がります。
- 髪型で額や目、顔の輪郭が隠れないようにしてください。
- 眼鏡をかけている場合は、眼鏡レンズが反射しないようにしてください。また、眼鏡のフレームが目隠さないようにしてください。
- 登録時の顔画像と化粧による差がないようにしてください。
- マスク、サングラス、帽子、眼帯等は、着用しないでください。
- 顔が横向き、下向き、上向きの画像は避け、正面を向いてください。
- 顔認証は、撮影した環境、顔認証サーバーのスペック、利用するユーザー数などによって、変わる可能性があります。利用するユーザー数が増えると、認証時間が遅くなる可能性があります。
- 認証時間がかかる場合、NWカメラに近づけて認証を行ってください。

NWカメラでうまく認証ができない場合は、一旦、NWカメラの前から離れ、再度、NWカメラの前に顔を向けてください。なお、AXISカメラで顔認証が成功となった時に、ステータスLEDが点滅しない、あるいは、音声再生されない場合、「付録1.2 AXIS M1065-Lの詳細設定」の6)の設定を見直してください。

### 5.3. 顔認証の認証精度に関する留意事項

- 顔認証の精度は100%を保証するものではありません。
- 予め定めた稼働条件で運用されていたとしても、認証結果に誤りが生じる可能性があります。
- 写真やモバイル端末に表示した顔画像をNWカメラにかざす「詐称行為」の検知はできません。
- 双子を識別するような厳格な設定(しきい値高めの設定)にて運用すると、本人拒否率が上がり(本人なのに本人として認証されない)、利便性を損なうことがあります。
- サングラス・マスクを装着するなど、顔の特徴を減らして本人と認証するような設定にて運用すると、他者受入率が上がり(他人が本人として認証される)、安全性を損なうことがあります。

### 5.4. 顔認証システムに関する注意事項

- 本複合機対応顔認証システムは、ほかの顔認証サーバーと連携していません。
- 複合機対応顔認証システムで利用するサーバー、NWカメラなどのIPアドレスは、固定IPアドレスのみサポートします。

### 5.5. システムの再起動

顔認証サーバーを再起動した場合は、接続するNWカメラが顔認証サーバーのフォルダにスナップショットを正常に送信しているか顔認証モニターツールで確認してください。顔認証モニターツールでの確認方法の詳細については、「付録4 顔認証モニターツール」を参照してください。正常に動作していない場合は、NWカメラを再起動してください。

### 5.6. 制限事項

- データベースのメンテナンス  
本システムのデータベース内のマスタデータ（ユーザ、プリンタなど）を直接削除や更新をされた場合の動作は保証いたしません。必ず、常に最新のデータベースをバックアップいただき、障害時に備える運用をお願い致します。

# 付録1. NW カメラの初期状態からの設定方法

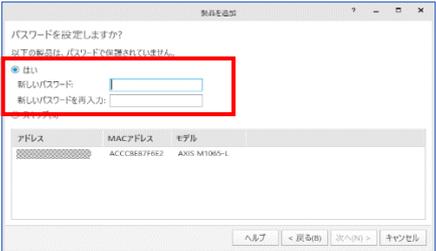
## 付録1.1 AXIS M1065-L の初期起動

以下に「AXIS M1065-L」を例に、AXISカメラの初期起動方法を説明します。

### 1) AXIS Device Managerでの初期起動手順

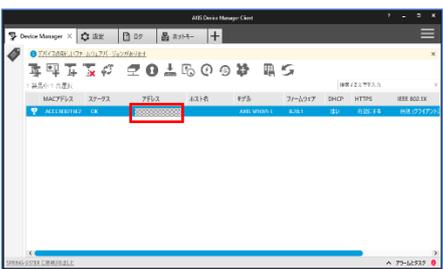
以下の操作手順のとおり、設定を行ってください。なお、本章は、バージョン「5.03.002」のAXIS Device Managerツールに基づいて説明します。バージョンが異なる場合、画面の表記が異なる場合があります。

表 付録 1-1 AXIS Device Manager の操作手順(1/2)

	画面	説明
(1)		<p>インストール後、デスクトップ上にあるAXIS Device Manager Clientツールのショートカットキーをダブルクリックします。左記の画像が表示されましたら、「このコンピュータ」を選択し、「Log On」ボタンをクリックします。</p> <p>※ 現在、ログオンしているWindowsアカウントで直接接続され、左記の画像が表示されない場合があります。その場合、そのまま以下の(2)を実施してください。</p>
(2)		<p>上記(1)を実施後、左記の製品追加画像が表示されます。</p> <p>使用するNWカメラと同一MACアドレスの行を選択し、「次へ」を選択します。</p> <p>※ 左記の追加画像が表示されない場合、「設定」メニューから「デバイスの追加」を選択してください。</p> <p>※ MACアドレスは使用するAXISカメラの背面の上部に「S/N」と記載されているところにて確認してください。</p>
(3)		<p>新しいパスワードの設定画像が表示されます。新しいパスワードを設定後、「次へ」を選択します。</p> <p>※ 1文字以上64文字以内の半角英数字・半角記号が入力できます。</p> <p>※ パスワードの設定は省略できません。設定したパスワードは、以降のNWカメラブラウザページへのログイン時に利用します。</p> <p>※ AXISカメラのデフォルトユーザ名「root」のパスワードを忘れると、新たなパスワードを設定するのに、NWカメラを初期化する必要があります。パスワードは大切に保管してください。</p>

(続く)

表 付録 1-1 AXIS Device Manager の操作手順(2/2)

	画面	説明
(4)		<p>左記の画像が表示されたら、追加準備完了となります。「完了」ボタンをクリックします。</p>
(5)		<p>追加したNWカメラはAXIS Device Manager Clientツールのホームに表示されます。</p> <p>左記の画像の赤枠で囲まれている「アドレス」欄をクリックすると、NWカメラのブラウザページが表示されます。</p> <p>以降の説明に従い、表示されるブラウザページで、AXISカメラの各種設定を行ってください。</p> <p>※ 既定のブラウザがAXISカメラが利用可能なブラウザになっていない場合は、Webページが開けません。利用可能なブラウザを開き、「アドレス」欄に表示されるIPアドレスを該当ブラウザのアドレスバーに入力し、実行してください。</p>

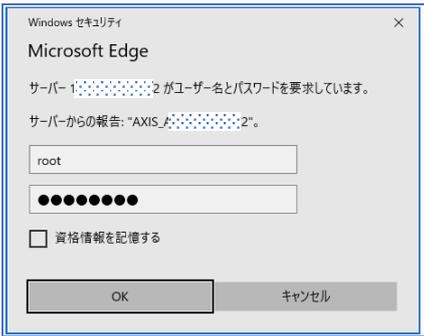
## 付録1.2 AXIS M1065-Lの詳細設定

以下に、AXISカメラの詳細設定手順について、説明します。なお、本説明は、ファームウェアバージョンが「8.40.3」のAXISカメラに基づいて説明します。

### 1) Webサイトへのログイン

AXIS Device Manager Clientツールに表示されているNWカメラの「アドレス」に従い、設定対象のNWカメラのWEBサイトにアクセスし、ログイン情報を入力してください。

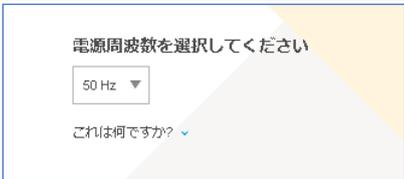
表 付録 1-2 NWカメラのWEBサイトへのログイン

画面と説明	
	<p>インターネットブラウザで、設定対象のNWカメラのWEBサイトを開きます。</p> <p><u><a href="http://NWカメラのIPアドレス">http://NWカメラのIPアドレス</a></u></p> <p>①：AXISのNWカメラの管理者ユーザ名「root」を入力します。</p> <p>②：パスワードは「表 付録 1-1 AXIS Device Managerの操作手順」の(3)で設定した新しいパスワードを入力します。</p> <p>③：「OK」ボタンをクリックします。</p>

### 2) ネットワーク情報の設定変更

以下にて、NWカメラのネットワーク情報の設定を変更してください。

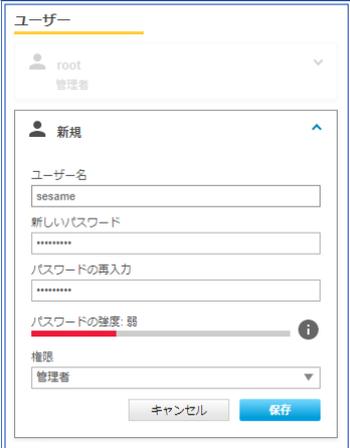
表 付録 1-3 ネットワーク情報の設定変更

画面と説明	
	<p>ログイン後、左記のように電源周波数の選択画面が表示されます。</p> <p>所在の地域の電源周波数に合わせて設定を行ってください。</p> <p>以下は参考にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本：50Hz</li> <li>・西日本：60Hz</li> </ul> <p>設定完了後、「次へ」ボタンを押下します。</p>
	<p>左記の画面が表示されます。以下の設定を行ってください。</p> <p>①：IPv4で「手動IPおよび手動DNS」を選択します。</p> <p>②：IPアドレスを入力します。</p> <p>③：サブネットマスクを入力します。</p> <p>④：デフォルトルーターを入力します。</p> <p>⑤：タイムゾーンを該当現地のタイムゾーンに設定します。設定後、「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>※ 次の画面に「完了」ボタンがある場合、「完了」ボタンをクリックします。</p> <p>※ 本画面を開くには、「設定」→「システム」→「TCP/IP」をクリックしてください。</p>

### 3) 管理者アカウントの追加

プログラム用管理者アカウントを追加します。

表 付録 1-4 管理者アカウントの追加

画面と説明	
(1)	 <p>表示される画面の右下にある黄色の「設定」ボタンをクリックします。 「システム」タブを選択すると左記の画面が表示されます。「ユーザー」を選択します。</p>
(2)	 <p>ユーザー画面で、以下の固定管理者アカウント情報を入力し、追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザー名 : <b>sesame</b></li> <li>• パスワード : <b>sesame@11</b></li> <li>• 権限 : <b>管理者</b></li> </ul> <p>※ 上記sesame管理者情報を変更しないでください。変更されると、NWカメラから音声、ステータスLEDの制御ができなくなりますので、ご注意ください。</p>

### 4) 動体検知設定

NWカメラの動体検知設定を行います。

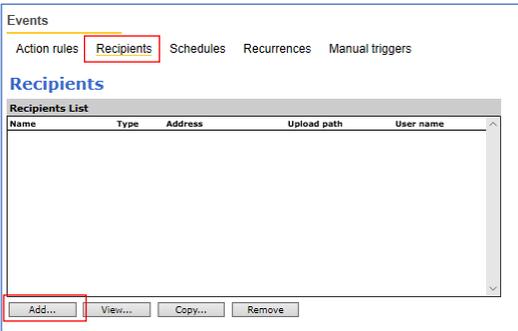
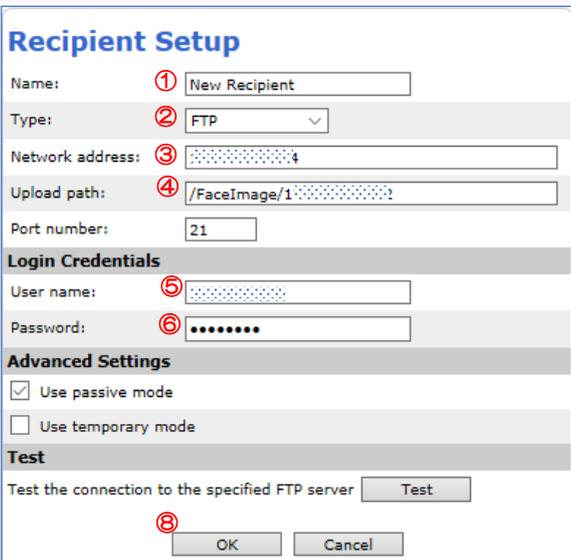
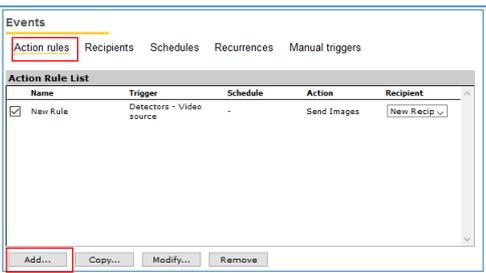
表 付録 1-5 動体検知の設定

画面と説明	
(1)	 <p>「アプリ」タブから「AXIS Video Motion Detection 4.2-5」を選択します。</p>
(2)	 <p>表示される「AXIS Video Motion Detection」画面で「開く」ボタンをクリックします。 「AXIS Video Motion Detection 4を起動します」を選択した後、サイトを閉じます。</p>

## 5) スナップショットの保存

NWカメラで撮った画像を顔認証サーバーへアップロードする場所を指定します。

表 付録 1-6 スナップショットの保存先の設定(1/2)

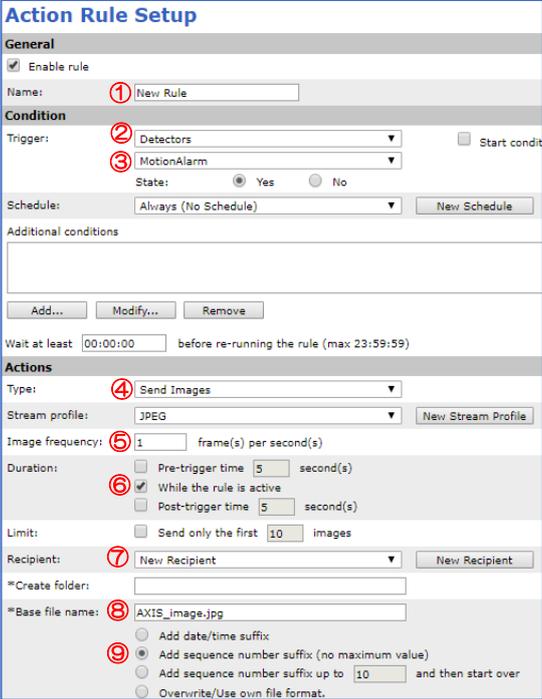
	画面と説明	
(1)		<p>「システム」タブの「イベント」を選択すると、「Events」ページが表示されます。</p> <p>「Recipients」を選択し、「Add」ボタンをクリックすると、「Recipient Setup」ページが表示されます。</p>
(2)		<p>「Recipient Setup」ページで送信先の設定を以下とおり、設定してください。</p> <p>①：Nameに任意の名称を設定します。</p> <p>②：Typeを「FTP」に設定します。</p> <p>③：Network addressに顔認証サーバーのIPアドレスを入力します。</p> <p>④：Upload pathにフェイススナップショット保存フォルダを「/FaceImage/xxx.xxx.xxx.xxx」（“xxx.xxx.xxx.xxx”はNWカメラのIPアドレス）形式で入力します。</p> <p>⑤：User nameに「Administrator」を入力します。</p> <p>⑥：Passwordに「fassvr@11」を入力します。</p> <p>⑦：「Use passive mode」にチェックを入れます。</p> <p>⑧：最後に「OK」ボタンをクリックします。</p>
(3)		<p>「Recipients」のとなりにある「Action Rules」を選択し、「Add」ボタンをクリックすると、「Action Rule Setup」ページが表示されます。</p> <p>※「Action Rules」の「Add」ボタンが表示されない場合、利用されるブラウザがサポートされていない、または最新バージョンでない可能性があります。</p>

(続く)

**ヒント**

- 「Recipient Setup」ページの「Test」ボタンをクリックすると、顔認証サーバーとの接続状態を確認することができます。ただし、以下の条件が整っていなければなりません。
  - ① 顔認証サーバーが事前にインストールされ、Windowsサービスにある SS\_FaceAuthorizeService が正常に動作していること。
  - ② 「表 1-4 顔認証サーバー上に登録した複合機、NWカメラ情報の設定変更方法」に従い、事前に複合機とNWカメラが設定されていること。

表 付録 1-6 スナップショットの保存先の設定(2/2)

画面と説明	
(4)	 <p>「Action Rule Setup」ページで以下のように設定してください。</p> <p>①：Nameに任意の名称を設定します。</p> <p>②：ConditionのTriggerを「Detectors」に設定します。</p> <p>③：リストボックスから「MotionAlarm」を選択します。</p> <p>※ 上記「4) 動体検知設定」を実施しないと、選択肢に本項目が表示されません。</p> <p>④：ActionsのTypeを「Send Images」に設定します。</p> <p>⑤：Image frequencyを「1」に設定します。</p> <p>⑥：ActionsのDurationで「While the rule is active」にチェックを付けます。</p> <p>⑦：Recipientで上記(1)で設定した「New Recipient」を選択し、送信先を設定します。</p> <p>⑧：Base file name欄の先頭に「AXIS_」を付けます。設定例：「AXIS_image.jpg」を設定します。</p> <p>※ 先頭にAXISを付けないと、NWカメラから音声やステータスLEDの制御ができなくなりますので、ご注意ください。</p> <p>⑨：「Add sequence number suffix(no maximum value)」にチェックを入れます。「OK」ボタンで保存します。</p>

## 6) ステータスLEDと音声の設定

AXISカメラの場合は、NWカメラにステータスLED、音声ファイルを設定することで、NWカメラからステータスLEDを点滅、音声を再生させることができます。

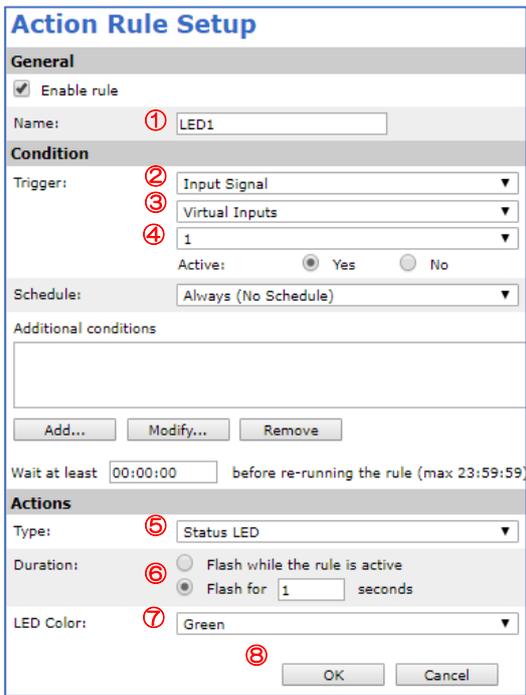
AXISカメラのステータスLEDと音声のサポート内容は、以下「表 付録1-7 ステータスLEDと音声のサポート」を確認してください。

表 付録 1-7 ステータスLEDと音声のサポート

サポートする動作種類	LEDランプ	音声再生
顔検出時	緑ランプ点滅	再生する
顔照合成功時	緑ランプ点滅	再生する
顔照合失敗時(ユーザの顔認識スコアが照合スコア未満の場合)	赤ランプ点滅	再生する

以下に、ステータスLEDの設定手順を説明します。

表 付録 1-8 ステータスLEDの設定

画面と説明																	
	<p>以下に従い、ステータスLEDの設定を行います。</p> <p>まずは、動作種類「顔検出時」に利用するLEDランプを設定します。</p> <p>「システム」→「イベント」→「Action Rules」を選択し、「Action Rules」メニューから「Add」ボタンをクリックします。</p> <p>「Action Rule Setup」ページで以下を設定してください。</p> <p>①：Nameに任意の名称を設定します。</p> <p>②：ConditionのTriggerに「Input Signal」を設定します。</p> <p>③：「Virtual Inputs」を設定します。</p> <p>④：ポート番号を指定します。下記表の動作種類に従い、ポート番号を設定します。「顔検出時」の場合、「1」を設定します。</p> <p>※以下を厳守してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>動作種類</th> <th>ポート番号 (左図④)</th> <th>稼働時間 (左図⑥)</th> <th>LED色 (左図⑦)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>顔検出時</td> <td>1</td> <td>1秒</td> <td>Green</td> </tr> <tr> <td>顔照合成功時</td> <td>2</td> <td>3秒</td> <td>Green</td> </tr> <tr> <td>顔照合失敗時</td> <td>3</td> <td>3秒</td> <td>Red</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤：ActionsのTypeに「Status LED」を設定します。</p> <p>⑥：ActionsのDurationにLEDの稼働時間を設定します。上記④の表の動作種類に従い、稼働時間を設定します。「顔検出時」の場合、「Flash for 1 seconds」を設定します。</p> <p>⑦：ActionsのLED ColorにLEDランプの色を設定します。上記④の表の動作種類に従い、色を設定します。「顔検出時」の場合、「Green」を設定します。</p> <p>⑧：OKボタンを押下します。</p> <p>※動作種類「顔検出時」を設定後、上記①～⑦を繰り返し、「顔照合成功時」、「顔照合失敗時」のLED設定を行ってください。</p>	動作種類	ポート番号 (左図④)	稼働時間 (左図⑥)	LED色 (左図⑦)	顔検出時	1	1秒	Green	顔照合成功時	2	3秒	Green	顔照合失敗時	3	3秒	Red
動作種類	ポート番号 (左図④)	稼働時間 (左図⑥)	LED色 (左図⑦)														
顔検出時	1	1秒	Green														
顔照合成功時	2	3秒	Green														
顔照合失敗時	3	3秒	Red														

以下に、音声の設定手順を説明します。

事前準備として、本マニュアルの格納フォルダに同梱している音声ファイル3つをNWカメラを設定操作するコンピューターに格納してください。

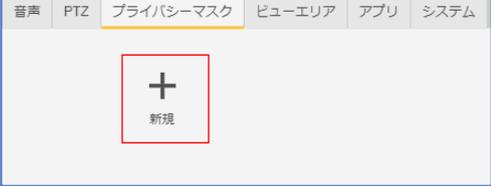
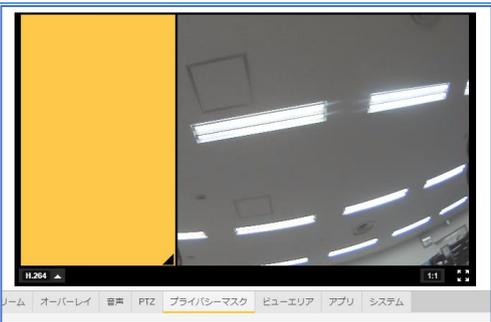
表 付録 1-9 音声ファイルの設定

	画面と説明								
(1)	<div data-bbox="336 472 778 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>以下に従い、音声ファイルをNWカメラに設定します。            まず、動作種類「顔検出時」に使用する音声ファイルを設定します。            左記の画像のとおり、「音声」タブから、「クリップの再生」の右側にある設定ボタンを選択します。</p>								
(2)	<div data-bbox="379 779 735 1189" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>左記の画像のとおり、「オーディオクリップを編集する」画面が表示します。            「Camera clicks」の右側にある削除ボタンをクリックし、既存の音声ファイルを<b>すべて削除</b>してください。</p>								
(3)	<div data-bbox="352 1205 756 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>①：「新しいクリップをアップロード」ボタンをクリックします。            ②：以下の動作種類に従い、再生音声ファイルを選択します。「顔検出時」の場合、「0-FaceDetected.wav」を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="927 1384 1385 1585"> <thead> <tr> <th>動作種類</th> <th>再生音声ファイル (左図③)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>顔検出時</td> <td>0-FaceDetected.wav</td> </tr> <tr> <td>顔照合成功時</td> <td>1-Success.wav</td> </tr> <tr> <td>顔照合失敗時</td> <td>2-Error.wav</td> </tr> </tbody> </table> <p>③：左記の画像のとおり、「0-FaceDetected」がリストに反映されます。            ④：動作種類「顔検出時」の音声ファイルを設定後、上記①～③を繰り返して、「顔照合成功時」、「顔照合失敗時」の音声ファイルの設定を行ってください。            ⑤：「完了」ボタンをクリックします。</p>	動作種類	再生音声ファイル (左図③)	顔検出時	0-FaceDetected.wav	顔照合成功時	1-Success.wav	顔照合失敗時	2-Error.wav
動作種類	再生音声ファイル (左図③)								
顔検出時	0-FaceDetected.wav								
顔照合成功時	1-Success.wav								
顔照合失敗時	2-Error.wav								

## 7) 撮像範囲の縮小

AXISカメラは広範囲に撮像されるため、より正確に認証するために、撮像範囲を縮小することを推奨します。以下にて設定手順を説明します。

表 付録 1-10 撮像範囲の縮小設定方法

	画面と説明
(1)	 <p>「プライバシーマスク」タブにある「新規」ボタンを押下します。</p>
(2)	 <p>左記画像のとおり、黄色のマスクが表示されます。黄色のマスクを、表示されるビューアーの約1/3のサイズに伸ばし、ドラッグしてビューアーの左端に移動します。</p>
(3)	 <p>同様に、「新規」ボタンを押下し、黄色のマスクが表示されます。表示されるビューアーの約1/3のサイズに伸ばし、ドラッグしてビューアーの右端に移動します。</p>

以上で、AXISカメラの設定を完了しました。NWカメラを再起動してください。

## 付録2. ログイン認証と管理メニュー

サーバ管理ツールの各機能を利用するには、システムにログインし、管理メニューから該当の機能を選択します。

### 付録2.1 通常の起動方法

初回起動時以降は、スタートメニュー、もしくはデスクトップ上のショートカットアイコン「サーバ管理ツール」をクリックして起動します。



図 付録 2-1 サーバ管理ツールのショートカットアイコン

表 付録 2-1 起動方法

OS バージョン	ショートカットの配置場所および確認方法
Windows Server 2016	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デスクトップ</li> <li>• 「Windows ログキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「サーバ管理ツール」を入力し、表示された「サーバ管理ツール」をクリックします。</li> </ul>

#### 注意

- サーバ管理ツールを起動するコンピュータの日付表示は、「西暦(日本語)」としてください。

## 付録2.2 ログイン認証

起動すると、ログイン認証画面が表示されます。ユーザID、アクセスキーを入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

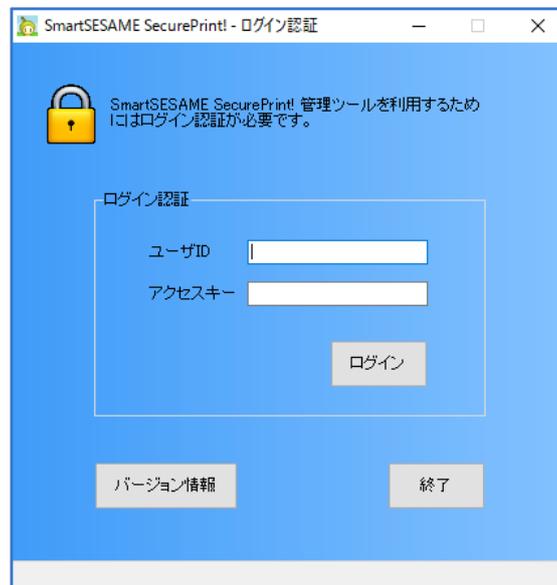


図 付録 2-2 ログイン認証画面

### ヒント

- システム導入直後は、管理サーバデータベースのインストール時に指定したビルトインユーザ (sesamebuiltin) のアクセスキーでログインしてください。
- ログイン認証時の入力項目詳細は、「表 3-5 ユーザ情報項目」を参照してください。

## 付録2.3 サーバ管理ツールのメニュー

ログイン認証に成功すると、サーバ管理ツールの管理メニューが表示されます。



図 付録 2-3 管理メニュー（システム管理者）

表 付録 2-2 ユーザについての管理機能

機能	利用権限区分	説明
検索	部門管理者以上	印刷出力履歴情報の参照、CSV ファイル出力、管理者によるジョブキャンセルなどの操作ができます。
集計	部門管理者以上	ユーザグループ、プリンタグループごとの出力枚数集計情報の参照、CSV ファイル出力などの操作ができます。
管理	部門管理者以上	ユーザ（グループ）、プリンタ（グループ）やカードのメンテナンス操作ができます。また、各種情報の一括登録を行うこともできます。
設定	システム管理者のみ	システム設定情報の管理を行うことができます。
スポットカード	スポット管理者以上	スポットカード貸し出し管理ができます。
利用者状況	部門管理者以上	サーバ管理ツールの利用者状況確認ができます。
バージョン情報	スポット管理者以上	サーバ管理ツールのバージョン情報確認ができます。
終了	スポット管理者以上	管理メニューを終了します。

### 注意

- サーバ管理ツールを利用するPCのディスプレイ設定は、以下を推奨します。

表 付録 2-3 推奨ディスプレイ設定

解像度	1024×768 以上
ディスプレイのサイズ (DPI)	100%（既定） ※150%でも利用可能です。 ※125%の場合は、文字配置がずれることがありますが、操作は可能です。

## ヒント

- 管理メニューは、ログインユーザに与えられた権限区分によって、利用できる機能が制限されます。
- システム管理者権限ユーザでログインすると、すべての管理機能を使用することができます。
- 部門管理者、スポット管理者権限ユーザでログインされた場合は、「図 付録2-4 部門管理者（左画面）、スポット管理者（右画面）の管理メニュー」のように、権限によって機能が制限されます。



図 付録 2-4 部門管理者（左画面）、スポット管理者（右画面）の管理メニュー

## 付録2.4 ログインユーザの権限区分

本システムでは、各ユーザに対して権限を与えることができます。この権限は、主にサーバ管理ツールの利用機能を制限するために使用されるものです。以下の表に、本システムが持つ権限と利用制限について記します。なお、権限の強さは、「一般ユーザ」から「スポット管理者」、「部門管理者」の順で、「システム管理者」が一番強い権限を持ち合わせています。高い権限のユーザを設定される際には、十分ご検討の上設定してください。

表 付録 2-4 権限と利用制限

権限	利用制限
システム管理者	・なし（すべての機能が利用可能です。）
部門管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「設定」機能は、すべて利用できません。</li> <li>・「管理」機能の「一括登録」を利用することができません。</li> <li>・自部門についてのみ、「ユーザ管理」、「検索」、および、「集計」を利用することができます。</li> </ul>
スポット管理者	・「カード貸し出し・返却」機能のみ、利用することができます。
一般ユーザ	・すべての機能が利用できません。（サーバ管理ツールは利用できません。）

## 付録3. ウイルス対策ソフトでのリアルタイムスキャン除外

以下に、本システムを利用するにあたり、ご利用のウイルス対策ソフトでのリアルタイムスキャン対象から除外をお薦めするフォルダ/ファイルの一覧を記します。

### 【ウイルス除外リスト】 ※リアルタイム検索&予約検索共通

No	種別	フォルダ/ファイルパス
1	SecurePrint!アプリケーション	C:\SESAME
2	SecurePrint!アプリケーション	C:\ProgramData\CEC-LTD
3	SecurePrint!アプリケーション	C:\Program Files (x86)\CEC-LTD
4	SQLServer	C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server
5	SQLServer	C:\Program Files\Microsoft SQL Server
6	IIS	C:\inetpub
7	TREND MICRO推奨	Pagefile.sys
8	TREND MICRO推奨	*.pst
9	TREND MICRO推奨	%systemroot%\SoftwareDistribution\Datastore
10	TREND MICRO推奨	%windir%\Security\Database
11	TREND MICRO推奨	%allusersprofile%\NTUser.pol
12	TREND MICRO推奨	%systemroot%\system32\GroupPolicy\Machine\registry.pol
13	TREND MICRO推奨	%systemroot%\system32\GroupPolicy\User\registry.pol

#### 注意

ウイルス対策ソフトを使用する場合は、Windows Defender を無効にする必要があります。有効になっている場合、無効に変更してください。

## 付録4. 顔認証モニターツール

NWカメラ対応顔認証は、Windowsサービスから起動されるため、ユーザインタフェースを持っていません。そのため、認証可否は顔認証サーバー側からのアクションを通知する術がありません。

NWカメラ対応顔認証では、顔認証サーバー側からのアクションをディスプレイ装置で参照可能な「顔認証モニターツール」を付録ツールとして用意します。

表 付録 4-1 顔認証モニターでできること

	項目説明
(1)	<p>顔認証サーバーからのアクション状況を表示します。</p> <p>①：「受信した画像ファイルをモニタリングする」をチェックすると、受信した画像を②に、アクション状況を③に表示します。起動時はチェックONの状態です。</p> <p>②：NWカメラから受信した画像をNWカメラ単位に表示します。</p> <p>③：顔認証サーバーからのアクションメッセージを表示します。</p>
(2)	<p>NWカメラから受信した画像ファイルにおいて、「顔」と認められる画像ファイルをフェイスマスター登録準備フォルダに移動します。</p> <p>移動した顔画像ファイルは、サーバ管理ツールでユーザと紐づけてフェイスマスターに登録することができます。</p>

本ツールは、導入前の検証時やトラブル時にのみ使用してください。運用稼働中の利用は推奨しません。

顔認証モニターツールは、Administratorsグループのユーザでログオンし、以下のプログラムを起動します。

```
[インストールフォルダ]¥FaceAuthorize¥ss.sp.FaceAuthorizeMonitorTool.exe
```

※顔認証サーバーのインストールフォルダのパスは以下となります。

```
C:¥Program Files (x86)¥CEC-LTD¥SmartSESAME¥SecurePrint
```

## 付録4.1 アクション状況の表示

顔認証モニターによるアクション情報の表示機能は、NWカメラから受信したスナップショット画像の表示や顔画像判断、該当プリンタのジョブ蓄積状況、顔画像から導いた特徴量とフェイスマスターとの検証結果の情報を表示します。本機能は、起動時に最大10秒間は表示できない状態が発生します。

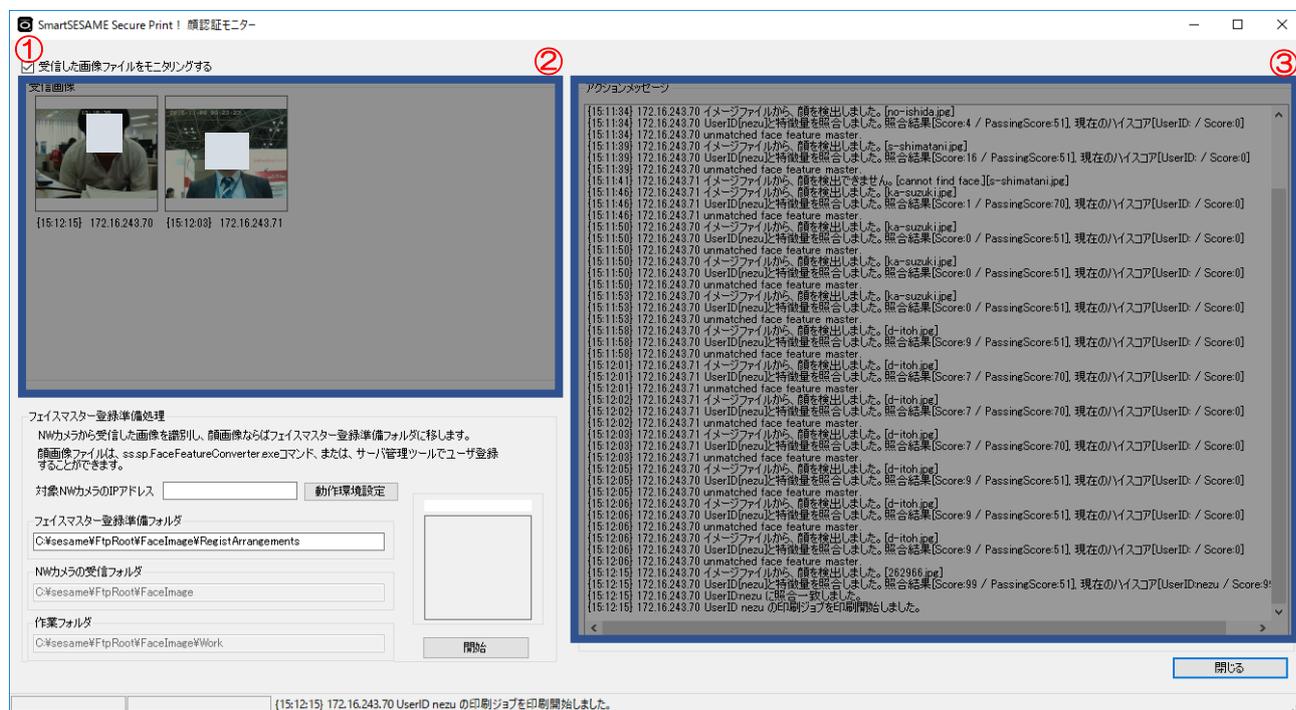


図 付録 4-1 顔認証モニターの表示イメージ

### ① 受信した画像ファイルをモニタリングする

チェックをONにした場合、下記の②、および、③に各々の情報をアクションごとに情報を表示します。チェックをOFFした場合は、アクションごとの情報表示は停止します。

### ② 受信画像

最大8台分のNWカメラから受信したスナップショット画像を表示します。画像の下部には、“{受信時刻} NWカメラのIPアドレス”を表示します。

### ③ アクションメッセージ

顔認証サーバーからのアクション情報を、以下の形式で表示します。

{受信時刻} NW カメラの IP アドレス アクションメッセージ [詳細情報]…

代表的なアクションメッセージを以下に記します。

表 付録 4-2 アクションメッセージの説明

メッセージ	意味
受信したイメージファイルから、顔を検出しました。	NWカメラから受信した画像は、「顔」を含む画像であることを表します。
UserID[{0}]と特徴量を照合しました。照合結果[Score:{nn} / PassingScore:{mm}]	NWカメラから受信した顔画像とフェイスマスターとの照合結果を表します。
UserID:xxxxに照合一致しました。	フェイスマスターとの照合において、ユーザが特定できたことを表します。
UserID:xxxxの印刷ジョブを印刷開始しました。	特定したユーザの印刷ジョブについて、印刷開始したことを表します。
受信したイメージファイルは、顔を検出できません。	受信した画像は、顔を含む画像でないため、認証できなかったことを表します。
イメージファイルを認証できませんでした。	イメージファイル不正、すでにプリンタ起動中などの理由により、受信した画像ファイルについて、処理を迂回したことを表します。
プリンタに紐づくユーザジョブがありませんでした。	NWカメラに紐づくプリンタに印刷ジョブがないことを表します。

アクションメッセージは、ステータスバーにも表示します。

## 付録4.2 フェイスマスター登録準備フォルダへの移動

ある特定のNWカメラから受信した顔画像だけを特定のフォルダに移動することができます。この機能を使うことによって、サーバ管理ツールのユーザ管理を使って、ユーザの顔画像をフェイスマスターに登録することができます。

- (ア) 顔認証モニターツールを使って、フェイスマスター登録準備フォルダにNWカメラから受信した顔画像ファイルを移動する。

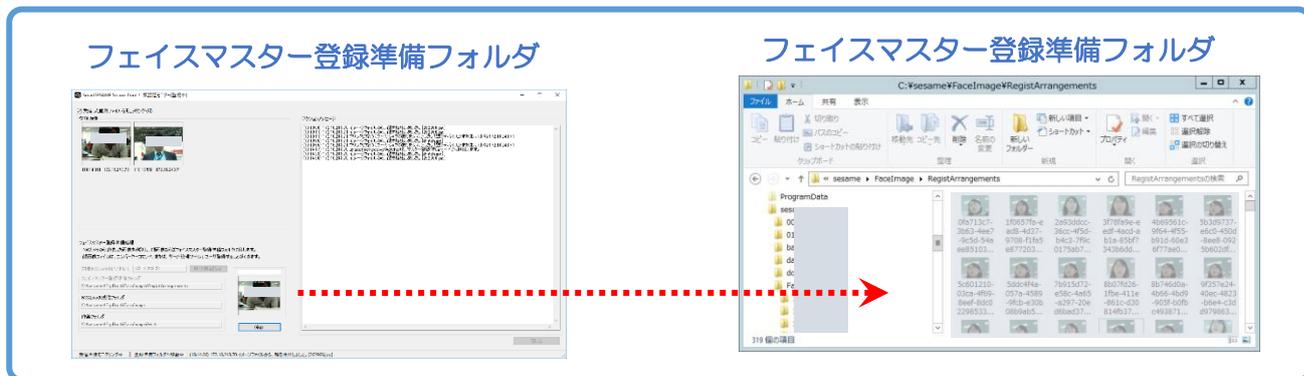


図 付録 4-2 顔認証モニターを使って、フェイスマスター登録準備フォルダに移動

- (イ) サーバ管理ツールのユーザ管理を使って、顔画像をユーザに紐づけてフェイスマスターに登録する。



図 付録 4-3 サーバ管理ツールを使って、フェイスマスターに登録

### (1) 「フェイスマスター登録準備フォルダへの移動」の設定方法

顔認証モニターツールにおける、フェイスマスター登録準備フォルダへの顔画像移動は、以下の手順で設定します。

- ① 「フェイスマスター登録準備フォルダ」を任意なフォルダに指定します。
- ② 「対象NWカメラのIPアドレス」には、モニターツールの受信画像領域に表示されている任意なNWカメラのIPアドレスに指定します。

「開始」ボタンをクリックすると、NWカメラ前に該当ユーザが写されると、NWカメラから受信した顔画像のうち、顔特徴量取得できた画像のみ「フェイスマスター登録準備フォルダ」に指定したフォルダに移動します。

## (2) サーバ管理ツールを使ったフェイスマスター登録

上記顔認証モニターツールの「フェイスマスター登録準備フォルダへの移動」で取得した顔画像をサーバ管理ツールのユーザ管理機能を使って、フェイスマスターに登録することができます。以下に注意事項・留意事項を記します。

- イ) フェイスマスターへの登録は、顔認証サーバーにあるサーバ管理ツールで行えます。顔認証モニターツールで取得した顔画像は、顔認証サーバーの任意なフォルダにコピーし、サーバ管理ツールからは、その任意フォルダを参照ボタンクリック時に指定してください。
- ロ) 顔認証モニターツールで使用した動作環境の設定値は、サーバ管理ツールでも同じ値に設定してください。異なった設定値の場合、顔特徴量の取得でエラーとなることがあります。

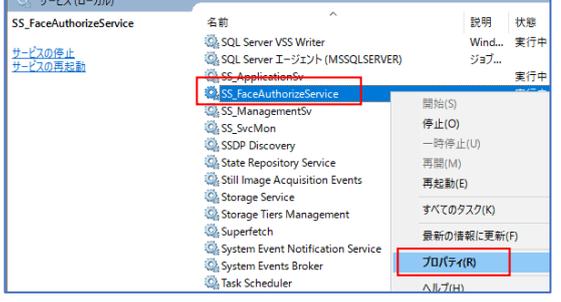
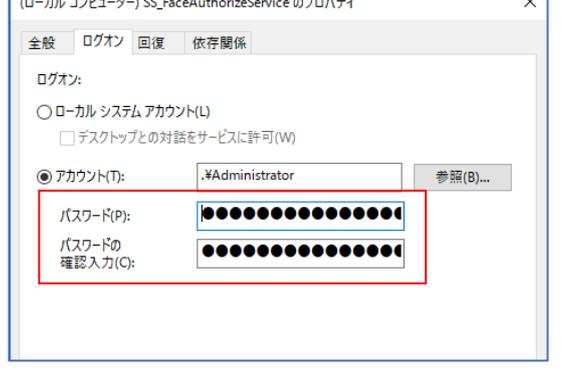
## 付録5. ログインアカウントのパスワード変更

顔認証サーバーのログインアカウント” Administrator”のパスワードを変更した場合は、顔認証サーバーの顔認証サービスの起動ユーザのパスワードの変更、および、NWカメラ本体の画像転送先の設定変更が必要です。以下に従い、設定を行ってください。

### 1) 顔認証サーバーの顔認証サービスの起動ユーザのパスワード変更

以下の変更手順に従い、設定変更作業を行ってください。

表 付録 5-1 顔認証サービスの起動ユーザパスワード変更方法

画面と説明	
<p>(1) </p>	<p>「Windowsロゴキー」+「Q」を押下し、[検索]ボックスに「サーバー マネージャー」を入力し、表示された「サーバー マネージャー」をクリックします。サーバーマネージャーが表示されると、「ツール」をクリックし、「サービス」を選択します。</p>
<p>(2) </p>	<p>表示されるサービス一覧画面では、「SS_FaceAuthorizeService」を選択し、右クリックメニューより「プロパティ」を選択します。</p>
<p>(3) </p>	<p>表示されるプロパティ画面で、アカウント「Administrator」のパスワードを新パスワードに設定しなおし、「OK」ボタンを押下します。</p> <p>顔認証サーバーを再起動してください。</p>

### 2) NWカメラ本体に設定した画像の転送先の設定変更

「2.2 画像の転送先の設定変更」を参照し、再度NWカメラの画像の転送先の設定変更を行ってください。

## 付録6. トラブルシューティング

以下に「NWカメラ対応顔認証」を利用するにあたり、障害発生時のトラブルシューティングを記します。なお、データベース障害、通信障害、印刷障害など、NWカメラ対応顔認証固有でないトラブルについては、割愛します。

### ヒント

顔認証モニターツールのアクション状況表示機能を使うと、顔認証サーバーがどこまで進捗しているかがわかるため、早期解決に役立てることができます。

### 1) NWカメラから画像が受信されない。

NWカメラから画像が受信されない原因としては、以下が考えられます。

#### A) NWカメラ側の設定誤り、NWカメラの故障。

A-1) NWカメラの電源が入っていない、ネットワークが接続されていない。

NWカメラの電源を確認してください。また、ネットワークが接続されているか確認してください。

A-2) NWカメラの設定に誤りがある。

NWカメラ側の設定が間違っている可能性があります。「2.NWカメラの設定」を参考に、NWカメラ側の設定を見直してください。

A-3) NWカメラの設定が反映されていない。

NWカメラに設定が反映されていない可能性があります。NWカメラの電源を切/入し、再起動してみてください。再起動後は、NWカメラの現在時刻が合っていることを確認してください。

A-4) NWカメラが故障している。

NWカメラの設定メニューに接続できない、ページが開かない場合は、故障している可能性があります。NWカメラを再起動しても改善されない場合は、NWカメラを交換してください。

A-5) NWカメラと顔認証サーバーの情報に不整合が発生している。

NWカメラを再起動してください。

#### B) NWカメラが接続する顔認証サーバー側の設定誤り、環境不備。

B-1) 複合機の認証デバイスの設定に誤りがある。

複合機の認証デバイスの設定が間違っている可能性があります。「表 1-4 顔認証サーバー上に登録した複合機、NWカメラ情報の設定変更方法」を参考に、プリンタの設定を見直してください。

B-2) 必要なサービスが起動していない。

複合機が接続している顔認証サーバーのWindowsのサービスを開き、以下のサービスが起動しているか確認してください。

表 付録6-1 Windowsサービスの確認

確認するサービスの表示名	条件
Server	NWカメラから受信するスナップショットファイルの保存には共有フォルダ機能を利用するため、本サービスが起動されることが必要です。

NWカメラ側が原因であるか、顔認証サーバー側が原因であるかの切り分けは、NWカメラを単独で動作させ、スナップショットファイルが該当のフォルダに受信できるか否かで判断できます。以下の手順で顔認証サーバー側のプログラムを停止し、NWカメラからのファイル受信動作を確認してください。

- ① タスクマネージャーを起動し、詳細タブを表示して、「SS\_SMSelfMonitor.exe」、  
「SS\_SvcMon.exe」のタスクを終了します。
- ② Windowsのサービスを起動し、「SS\_FaceAuthorizeService」を停止します。
- ③ スナップショット保存フォルダのFaceImageにNWカメラのIPアドレスでフォルダが作成されているか確認します。作成されていない場合は、NWカメラのIPアドレスでフォルダを作成し、フォルダにアクセス権を付与します。

以上の操作を行ったあと、FaceImageフォルダ配下のIPアドレスフォルダにスナップショットファイルがアップロードされるか確認してください。アップロードされない場合は、NWカメラ側に原因があります。

原因究明後は、Windowsのサービスを起動し、「SS\_SvcMon」を開始します。

## 2) NWカメラから受信した画像が認証処理されない。失敗する。

以下の原因が考えられます。

- ・ **必要なサービスが起動していない。**  
顔認証サーバーのWindowsのサービスを開き、以下のサービスが起動中か否かを確認してください。

表 付録6-2 各サービスの起動状況

確認するサービスの表示名	顔認証サーバー
SS_ApplicationSv	○
SS_FaceAuthorizeService	○
SS_SvcMon	○
SQL Server (MSSQLSERVER)	○

【凡例】 ○：起動中であること △：サービスが存在する場合は起動中であること -：どちらでもよい

- ・ **プリンタ管理に誤りがある。**  
複合機が定義されていない、認証デバイスの設定に誤りがあるなどの原因が考えられます。「表 1-4 顔認証サーバー上に登録した複合機、NWカメラ情報の設定変更方法」を参考に、プリンタの設定を見直してください。
- ・ **NWカメラの設置場所、設置位置が条件に一致しない。**  
「5.1 NWカメラの設置場所と設置位置の注意事項・留意事項」を参考に、NWカメラの設置場所、設置位置を調整してください。
- ・ **NWカメラで撮影した画像の輪郭、明暗が不足している。**  
「1.3.ユーザと顔画像の登録方法」の「注意」に記した条件に一致するか確認してください。また、NWカメラの設置位置を調整し、顔が大きく写りこみ、鮮明に撮影されるようにしてください。
- ・ **NWカメラで撮影した画像が条件に一致しない。**  
「5.2 顔認証時の注意事項・留意事項」を参考に、利用者の撮影状態を確認し、条件に一致するよう誘導してください。
- ・ **NWカメラの動作環境設定（顔検出）に一致しない。**  
受信した顔画像と認証デバイスの動作環境設定で指定した顔検出の条件が一致しない可能性があります。NWカメラから受信した顔画像を吟味し、顔検出の動作環境設定を見直してください。
- ・ **NWカメラの設定に誤りがある。**  
「2. NWカメラの設定」を参考に、NWカメラ側の設定を見直してください。  
(注意) NWカメラによっては、再起動によってNWカメラの現在日時が初期化される場合があります。

### 3) 他のNWカメラで撮影した顔画像が顔検出されない。フェイスマスター登録されない。

運用で使用するNWカメラ以外で撮影した顔画像が顔検出されない、および、フェイスマスター登録されない原因として、以下が考えられます。

- **撮影した画像の輪郭、明暗が不足している。**  
「1.3.ユーザと顔画像の登録方法」の「注意」で記した条件に一致するか確認してください。また、NWカメラの設置位置を調整し、顔が大きく写りこみ、鮮明に撮影されるようにしてください。
- **動作環境設定に一致しない。**  
登録する顔画像とフェイスマスター登録の動作環境設定で指定した顔検出の条件、顔照合の条件に一致しない可能性があります。顔画像を吟味し、動作環境設定を見直してください。
- **画像が回転している。**  
画像が回転している可能性があります。Windowsのペイントツールなどを利用し、上書き保存した画像で再度実行してみてください。

### 4) 利用者が認証処理されない。

以下の原因が考えられます。

- **NWカメラで撮影した画像の輪郭、明暗が不足している。**  
「1.3.ユーザと顔画像の登録方法」の「注意」で記した条件に一致するか確認してください。また、NWカメラの設置位置を調整し、顔が大きく写りこみ、鮮明に撮影されるようにしてください。
- **NWカメラで撮影した画像が条件に一致しない。**  
「5.2 顔認証時の注意事項・留意事項」を参考に、利用者の撮影状態を確認し、条件に一致するよう誘導してください。
- **NWカメラの動作環境設定（顔照合）に一致しない。**  
受信した顔画像と認証デバイスの動作環境設定で指定した顔照合の条件が一致しない可能性があります。NWカメラから受信した顔画像を吟味し、顔照合の動作環境設定を見直してください。

### 5) 特定の利用者が認証処理されない。

以下の原因が考えられます。

- **フェイスマスターに該当ユーザの顔登録が登録されていない。**  
フェイスマスターに該当ユーザの顔画像が登録されていない可能性があります。「1.3.ユーザと顔画像の登録方法」を参照し確認してください。
- **フェイスマスターに登録した該当ユーザの顔画像とNWカメラから受信した顔画像に隔たりがある。**  
フェイスマスターに登録した画像をサーバ管理ツールから参照し、「1.3.ユーザと顔画像の登録方法」の「注意」で記した条件に一致するか確認してください。また、普段の顔と隔たりがあるような場合は、フェイスマスターに登録した画像を更新することを検討してください。

### 6) 利用者を誤認識する。

以下の原因が考えられます。

- **フェイスマスターに該当ユーザの顔情報が間違っ登録されている。**  
フェイスマスターに登録した顔画像が該当ユーザと異なる顔画像が登録されている可能性があります。「1.3.ユーザと顔画像の登録方法」を参照し、確認してください。
- **NWカメラで撮影した顔のサイズが小さい。**  
NWカメラで撮影した顔のサイズが小さいため、ユーザの特定が困難だった可能性があります。NWカメラの設置位置を調整し、顔が大きなサイズで撮影されるようにしてください。
- **NWカメラで撮影した画像の輪郭、明暗が不足している。**  
「1.3. ユーザと顔画像の登録方法」の「注意」で記した条件に一致するか確認してください。

## 7) 複合機ログインが行われない。

以下の原因が考えられます。

- ・ **プリンタ管理で該当プリンタが定義されていない。設定に誤りがある。**  
サーバ管理ツールを開き、プリンタの管理から該当複合機を選択して設定値を見直してください。
- ・ **必要なサービスが起動していない。**  
顔認証サーバーのWindowsのサービスを開き、以下のサービスが起動中か否かを確認してください。

表 付録6-3 各サービスの起動状況

確認するサービスの表示名	顔認証サーバー
SS_ApplicationSv	○
SS_FaceAuthorizeService	○
SS_SvcMon	○
SQL Server (MSSQLSERVER)	○

[凡例] ○：起動中であること △：サービスが存在する場合は起動中であること -：どちらでもよい

## 8) 違う複合機からログインされる。

以下の原因が考えられます。

- ・ **複合機の認証デバイスの定義に誤りがある。**  
サーバ管理ツールを開き、プリンタの管理から該当複合機を選択して認証デバイスの種類、IPアドレスの設定値を見直してください。

## 9) 意図しないタイミングでログインされる。

以下の原因が考えられます。

- ・ **NWカメラの撮影範囲が広角である。**  
NWカメラの撮影範囲が広角であるため、該当ユーザがNWカメラに映りこんだ可能性があります。NWカメラの撮影範囲を調整してください。

## 10) サーバ管理ツールのユーザ管理でフェイスマスターへの登録ができない。

以下の原因が考えられます。

- ・ **画像の輪郭、明暗が不足している。**  
「1.3. 顔画像の登録方法」の「注意」で記した条件に一致するか確認してください。また、顔が大きく写りこみ、鮮明な画像を選択してください。
- ・ **画像が条件に一致しない。**  
「5.2 顔認証時の注意事項・留意事項」を参考に、利用者の撮影状態を確認し、条件に一致するよう誘導してください。
- ・ **動作環境設定（顔照合）に一致しない。**  
顔画像と動作環境設定で指定した顔照合の条件が一致しない可能性があります。顔画像を吟味し、顔照合の動作環境設定を見直してください。
- ・ **「管理者として実行」で起動されていない。**  
サーバ管理ツールが「管理者として実行」で起動されていない可能性があります。再度実行してください。
- ・ **「フェイスマスタ登録の動作環境」の設定値が不適切である。**  
「ユーザ」メニューにある「フェイスマスタ登録の動作環境」メニューにある設定値が高い可能性があります。適意に調整してください。

### 11) 顔認証モニターツールでフェイスマスター登録準備フォルダへの移動ができない。

上記トラブルシューティング(1)~(5)を再度見直してください、また、そのほかに、以下の原因が考えられます。

- ・ 「対象NWカメラのIPアドレス」が間違っている。  
顔認証モニターツールで指定した「対象NWカメラのIPアドレス」とサーバ管理ツールのプリンタ管理でした認証デバイスのIPアドレスが一致していない可能性があります。
- ・ 「管理者として実行」で起動されていない。  
顔認証モニターツールが「管理者として実行」で起動されていない可能性があります。再度実行してください。

### 12) AXISカメラによる顔認証ログインができて、音声再生されない。

以下の原因が考えられます。

- ・ サーバのネットワーク環境に問題がある。  
顔認証サーバにログインし、「Internet Explorer」を起動してください。アドレスバーに以下のURLを入力し、「Enter」キーを押してください。  
`http://xxx.xxx.xxx.xxx/axis-cgi/mediaclip.cgi?action=play&clip=0`  
※上記「xxx.xxx.xxx.xxx」にNWカメラのIPアドレスを入力してください。  
※ログイン画面が表示された場合、「root」のユーザ名とパスワードを入力してください。

上記の操作を実施後、NWカメラから音声再生されなかった場合、ご利用の顔認証サーバのネットワークに問題があると考えられます。顔認証サーバのネットワーク環境を確認してください。音声再生された場合、再度AXISカメラから顔認証を行ってください。それでも、音声再生されない場合は、弊社ヘルプデスクへお問い合わせください。

### 13) AXISカメラによる顔認証ログインができて、LEDが点滅しない。

以下の原因が考えられます。

- ・ 設定内容が不足している可能性がある。  
顔認証サーバにログインし、「Internet Explorer」を起動してください。アドレスバーに以下の①のURLを入力し、「Enter」キーを押した後に、以下の②のURLを入力し、「Enter」キーを押してください。  
① `http://xxx.xxx.xxx.xxx/axis-cgi/virtualinput/deactivate.cgi?schemaversion=1&port=1`  
② `http://xxx.xxx.xxx.xxx/axis-cgi/virtualinput/activate.cgi?schemaversion=1&port=1`

※上記「xxx.xxx.xxx.xxx」にNWカメラのIPアドレスを入力してください。  
※ログイン画面が表示された場合、「root」のユーザ名とパスワードを入力してください。

上記の操作を実施後、NWカメラのLEDが点滅した場合、「付録1.2 AXIS M1065-Lの詳細設定」に従い、NWカメラの設定内容を見直してください。それでも、LEDが点滅しない場合は、弊社ヘルプデスクへお問い合わせください。

### 14) AXIS Device Manager Clientツールにログオンできない。

以下の原因が考えられます。

- ・ 必要なサービスが起動されていない。  
AXIS Device Manager ClientツールをインストールしたコンピューターのWindowsのサービスを開き、「AXIS Device Manager」サービスが起動中か否かを確認してください。

## 15) NWカメラと複合機の紐付けを変更したが、うまく動作しない。

以下の原因が考えられます。以下の設定を見直してください。

- ・ 設定内容が正しくない可能性がある。
  - ① 「表 2-2 NWカメラのIPアドレスの変更」の(3)で設定したNWカメラの“IPアドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルトルーター”が正しいか。
  - ② 「表 2-3 画像の転送先の設定」の(2)の「Recipient Setup」ページで設定した“Network address”、“Upload path”が正しいか。
  - ③ 「表 1-4 顔認証サーバー上に登録した複合機、NWカメラ情報の設定変更方法」にあるプリンタのIPアドレスと認証デバイスのIPアドレスが意図した組み合わせに設定されているか。

- 以上 -